

SAFF

データの力で。

農林水産統計

Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries

図表でみる

中国四国農林水産業の概要



令和8年9月

農林水産省

中国四国農政局

利用上の注意

- 1 本資料は、中国四国地域における農林水産業の現状が概観できるよう、農林水産省で実施した農林水産統計調査結果から主要な統計を用い、地域・県別に図表化しています。
- 2 図表に表示した統計数値は、原則として単位未満の数値を四捨五入しているため、計と内訳の合計が一致しない場合や構成比の内訳の合計が100%にならない場合があります。
- 3 本資料に用いた農林水産統計調査結果のうち、秘密保護上統計数値を公表していない品目等がある場合、当該品目等を除いて編集しています。
- 4 今後、本資料に用いた農林水産統計調査結果の最新値又は訂正值が公表された際は、本資料を更新する予定ですが、リアルタイムで更新される仕組みではありません。このため、ご利用に当たっては、必要に応じて各ページに「資料」として記載している調査結果をご確認ください。

本資料に用いた農林水産統計調査結果の詳細は、農林水産省ホームページの「統計情報」のページでご覧いただけます。【<https://www.maff.go.jp/j/tokei/>】

【お問合せ先】

中国四国農政局 統計部 統計企画課

電 話：（代 表）086-224-4511 内線：2721、2727
（時間外）086-224-9426

メー ル：support_cs_stat@maff.go.jp

図表でみる 中国四国農林水産業の概要

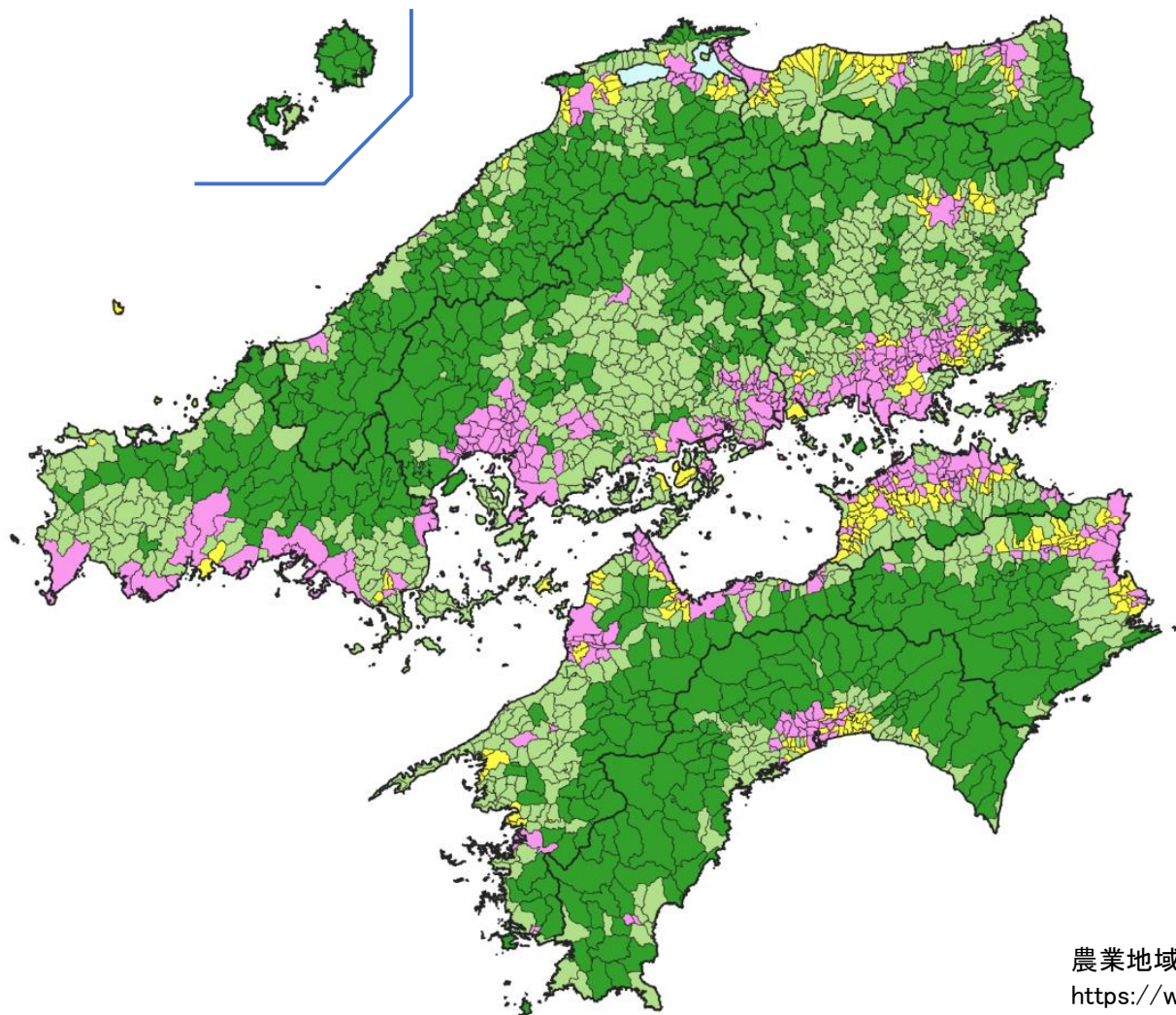
目 次

掲 載 項 目	ページ	最終更新日	掲 載 項 目	ページ	最終更新日
A 農業構造編			C 農業生産編(耕種)(つづき)		
中国四国地域の農業地域類型区分	A-1	令和6年5月28日	果樹(かき)	C-12	令和8年9月4日
耕地面積	A-2	令和6年12月20日	果樹(ぶどう)	C-13	令和8年9月4日
農業経営体	A-3	令和8年4月10日	D 農業生産編(畜産)		
農業労働力(基幹的農業従事者)	A-4	令和8年4月10日	畜産(乳用牛)	D-1	令和8年9月4日
農業労働力(基幹的農業従事者)(つづき)	A-5	令和8年4月10日	畜産(肉用牛)	D-2	令和8年9月4日
集落営農(集落営農数)	A-6	令和8年9月4日	畜産(豚)	D-3	令和8年9月4日
集落営農(1組織当たり現況集積面積)	A-7	令和8年9月4日	畜産(採卵鶏)	D-4	令和8年9月4日
B 農業経営編			畜産(ブロイラー)	D-5	令和8年9月4日
農業産出額	B-1	令和8年2月20日	E 林業編		
農業産出額(各県の部門別構成)	B-2	令和8年2月20日	林業経営体	E-1	令和8年4月10日
農業産出額(各県の主要農畜産物(上位10品目))	B-3	令和8年2月20日	林業産出額	E-2	令和8年3月27日
C 農業生産編(耕種)			各県における主な林産物生産量	E-3	令和8年4月10日
水稻(主食用)(中国地域)	C-1	令和8年3月27日	F 水産業編		
水稻(主食用)(四国地域)	C-2	令和8年3月27日	海面漁業経営体数及び漁業就業者数	F-1	令和6年12月20日
小麦(子実用)	C-3	令和8年4月10日	海面漁業経営体数(営んだ漁業種類・養殖種類別)	F-2	令和6年12月20日
大豆(乾燥子実)	C-4	令和8年9月4日	資源管理・漁場改善の取組(海面漁業)	F-3	令和6年12月20日
野菜(ねぎ)	C-5	令和8年2月20日	内水面漁業経営体数及び従事者数	F-4	令和6年12月20日
野菜(ブロッコリー)	C-6	令和8年2月20日	内水面漁業経営体数(営んだ漁業種類・養殖種類別)	F-5	令和6年12月20日
野菜(きゅうり)	C-7	令和8年2月20日	魚市場数及び年間取扱高	F-6	令和6年12月20日
野菜(なす)	C-8	令和8年2月20日	冷凍・冷蔵工場数及び従業者数	F-7	令和6年12月20日
野菜(トマト)	C-9	令和8年2月20日	水産加工場数及び従業者数	F-8	令和6年12月20日
果樹(みかん)	C-10	令和8年9月4日	漁業産出額(海面漁業・海面養殖業)	F-9	令和8年3月27日
果樹(日本なし)	C-11	令和8年9月4日	漁業生産量(海面漁業・海面養殖業)	F-10	令和8年3月27日

中国四国地域の農業地域類型区分

中国四国地域は、農業生産において条件不利とされる中山間農業地域が非常に多くっており、旧市区町村（昭和25年2月1日時点における市区町村）単位でみると、中間農業地域（938市区町村）と山間農業地域（588市区町村）を合わせた、中山間農業地域（1,526市区町村）が全体の約7割を占めています。

旧市区町村ごとの農業地域類型区分(令和5年改訂)



農業地域類型区分別旧市区町村数

計	2,166 (100.0 %)
都市的地域	378 (17.5 %)
平地農業地域	262 (12.1 %)
中間農業地域	938 (43.3 %)
山間農業地域	588 (27.1 %)

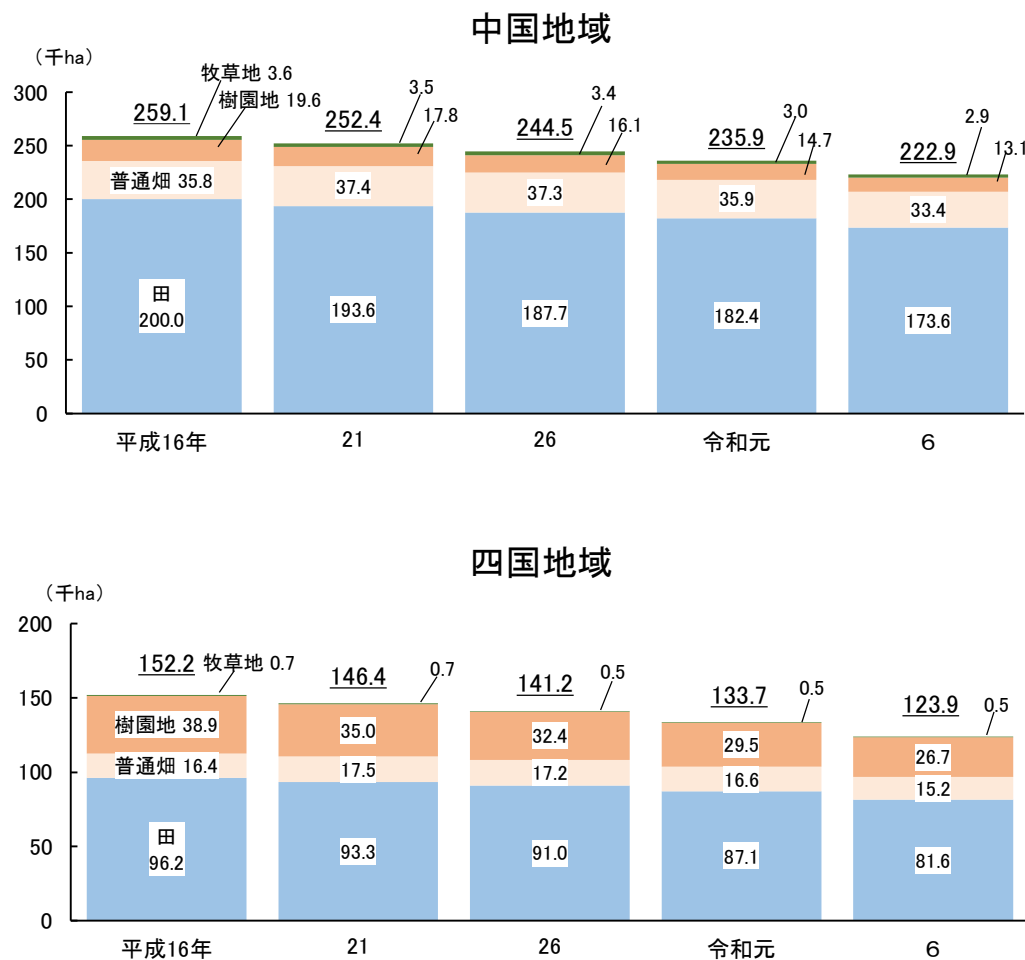
農業地域類型についての詳しい解説は、以下のURLをご覧ください。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/chiiki_ruikei/setsume.html

耕地面積

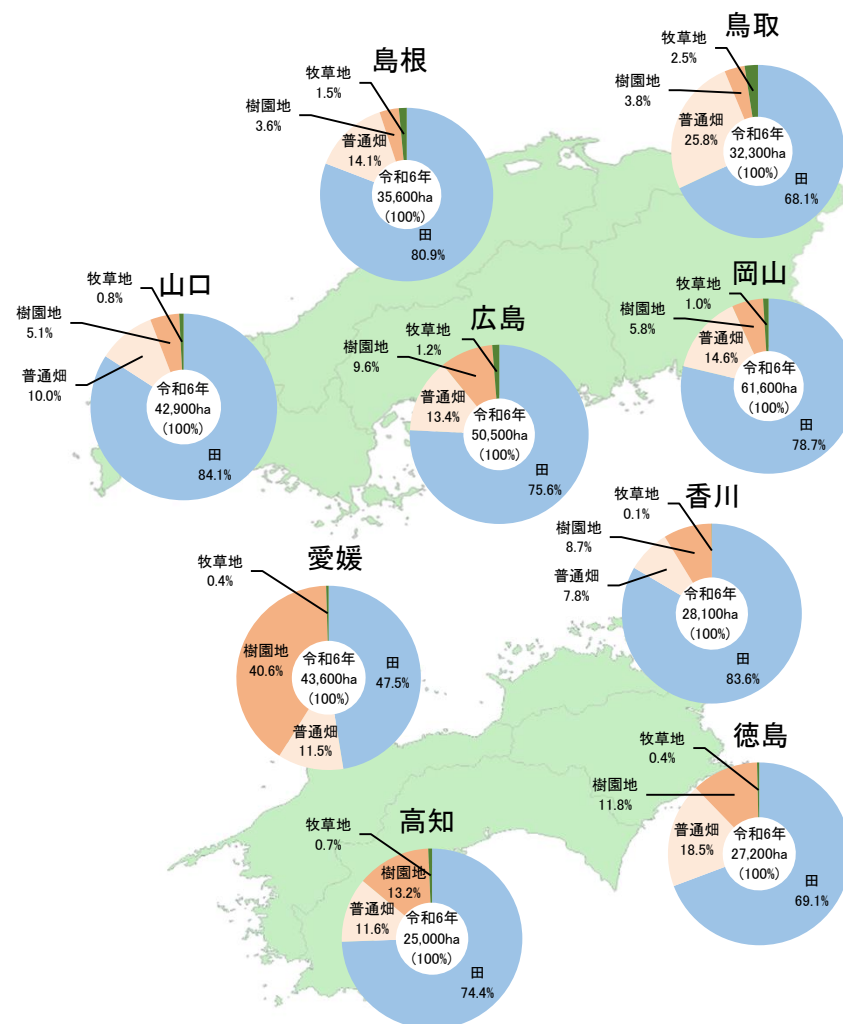
中国四国地域における耕地面積は、耕作放棄、宅地・道路への転用等により減少傾向が続いており、令和6年は20年前（平成16年）に比べ、中国地域では14.0%、四国地域では18.6%それぞれ減少しています。

耕地種類別の割合をみると、中国地域では田が多く、四国地域では樹園地が比較的多いのが特徴です。

耕地種類別面積の推移



県別の耕地種類別面積割合



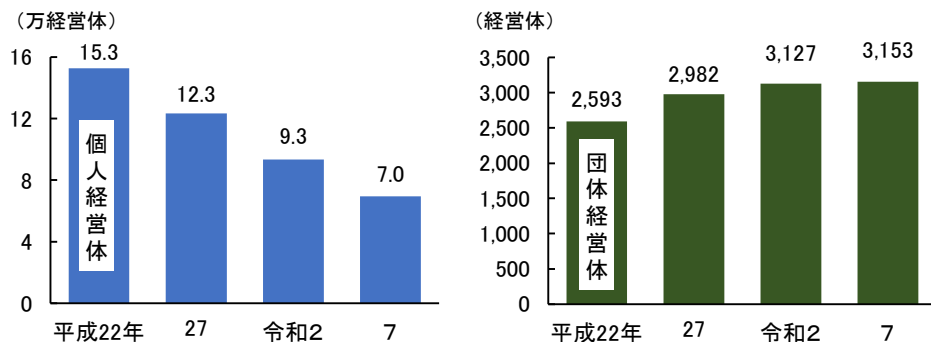
農業経営体

中国四国地域における個人経営体は、後継者不足に伴う廃業等のため減少傾向となっており、令和7年は15年前（平成22年）に比べ、中国地域では54.5%、四国地域では49.6%それぞれ減少しています。

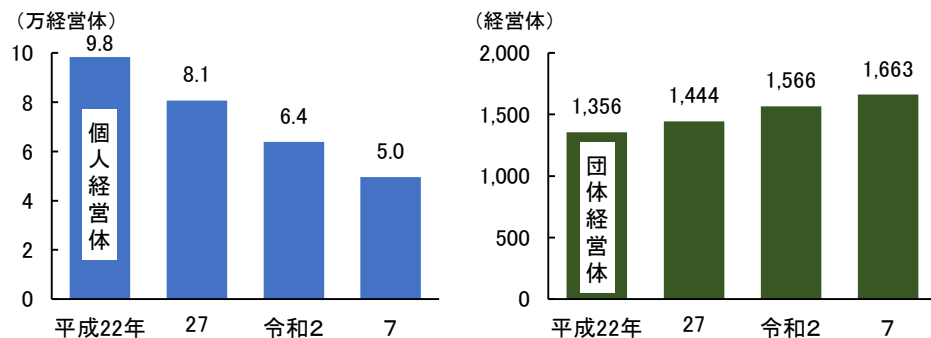
一方、会社法人・農事組合法人などの団体経営体は増加傾向となっており、令和7年は15年前に比べ、中国地域では21.6%、四国地域では22.6%それぞれ増加しています。

農業経営体数の推移

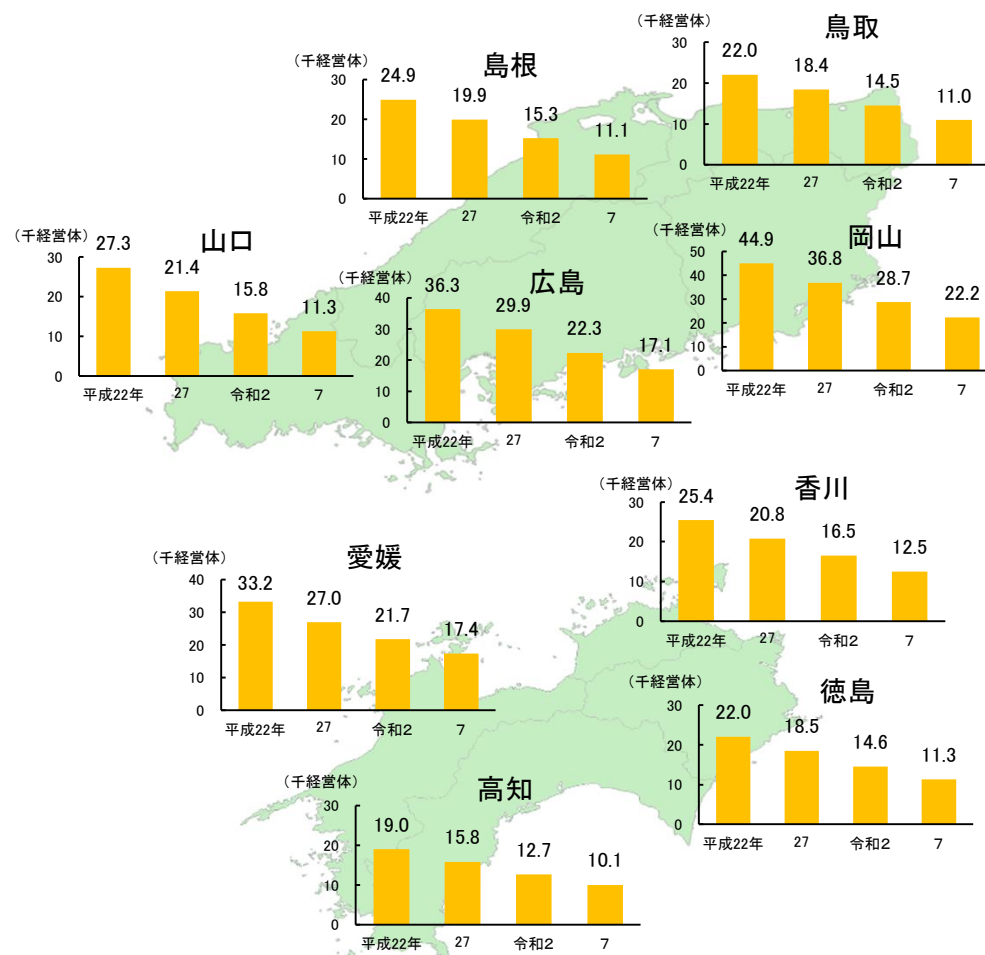
中国地域



四国地域



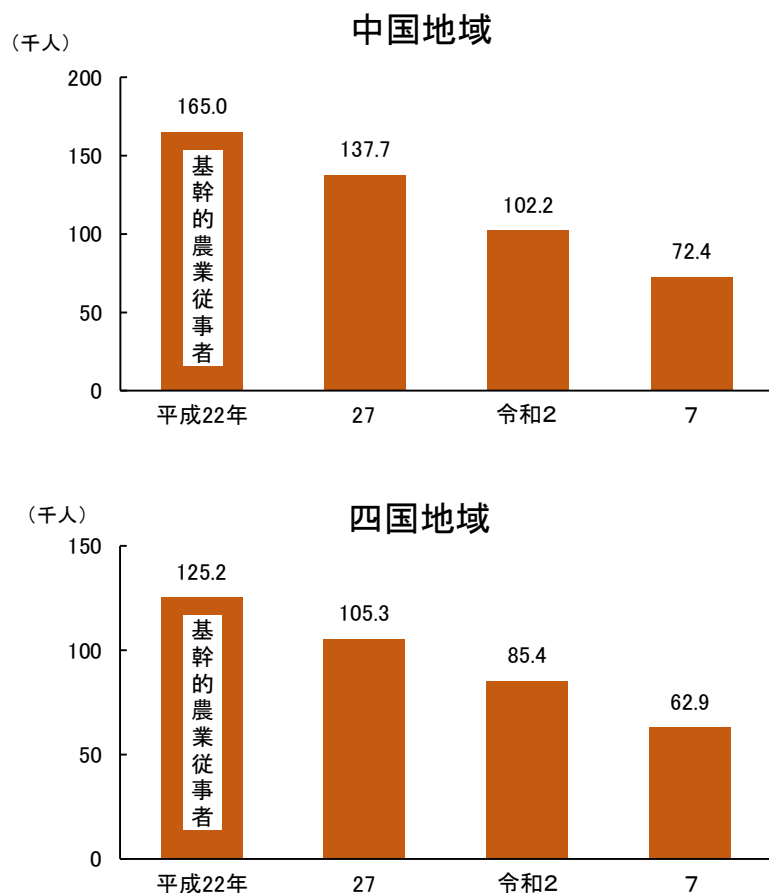
県別の農業経営体数の推移



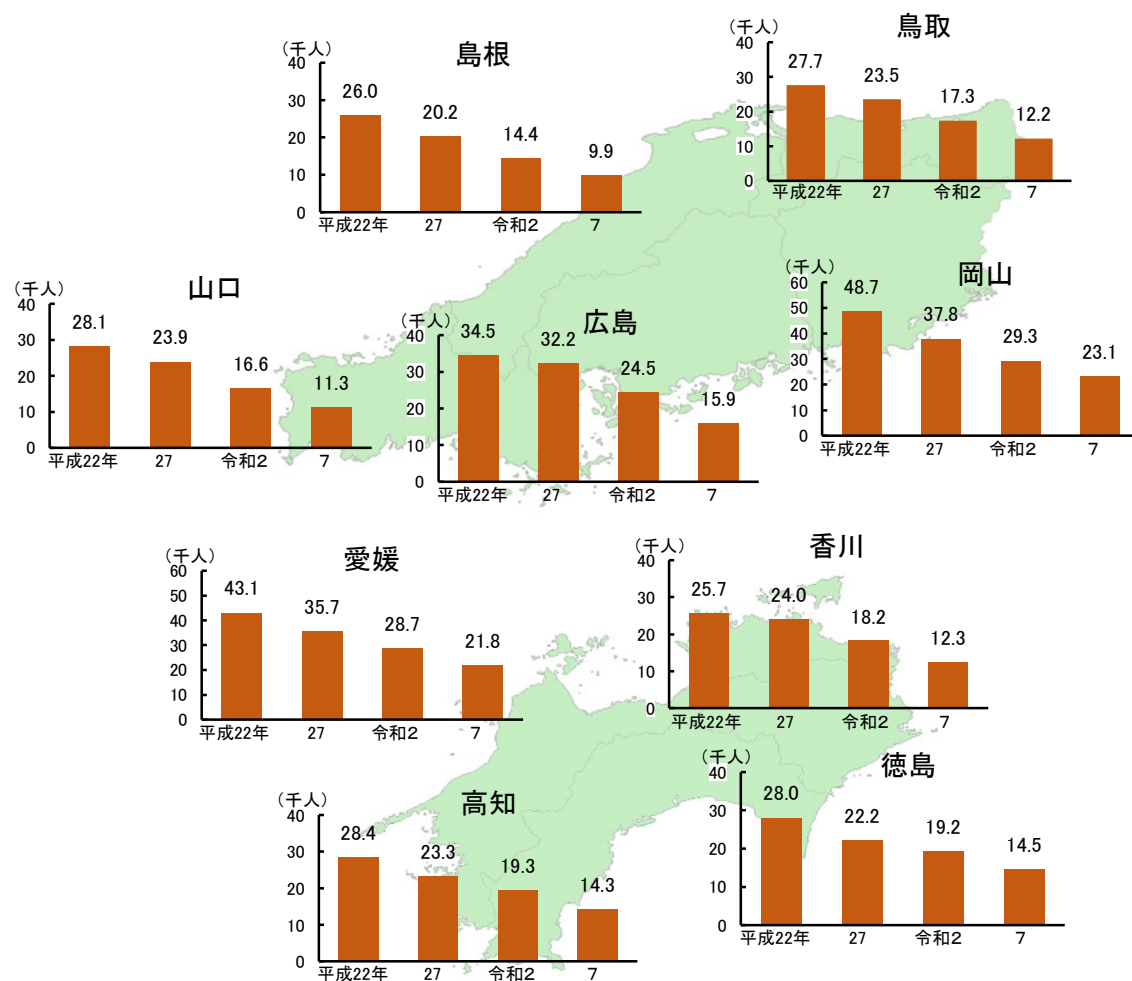
農業労働力

中国四国地域における個人経営体（平成22年は販売農家）の基幹的農業従事者は、後継者不足等のため減少傾向となっており、令和7年は15年前（平成22年）に比べ、中国地域では56.1%、四国地域では49.8%それぞれ減少しています。

基幹的農業従事者数の推移



県別の基幹的農業従事者数の推移



資料：農林水産省「農林業センサス」

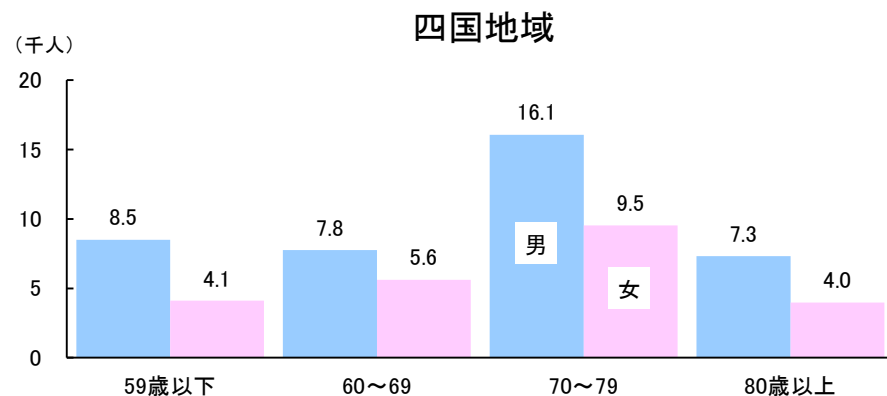
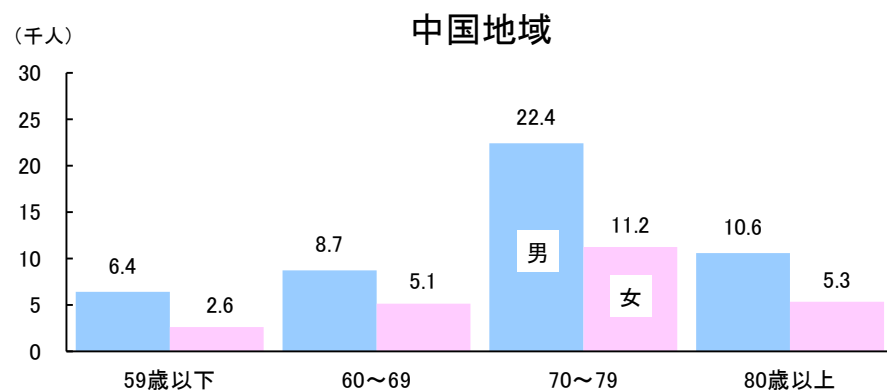
注：平成22年は「販売農家」、27年以降は「個人経営体」の数値です。

農業労働力（つづき）

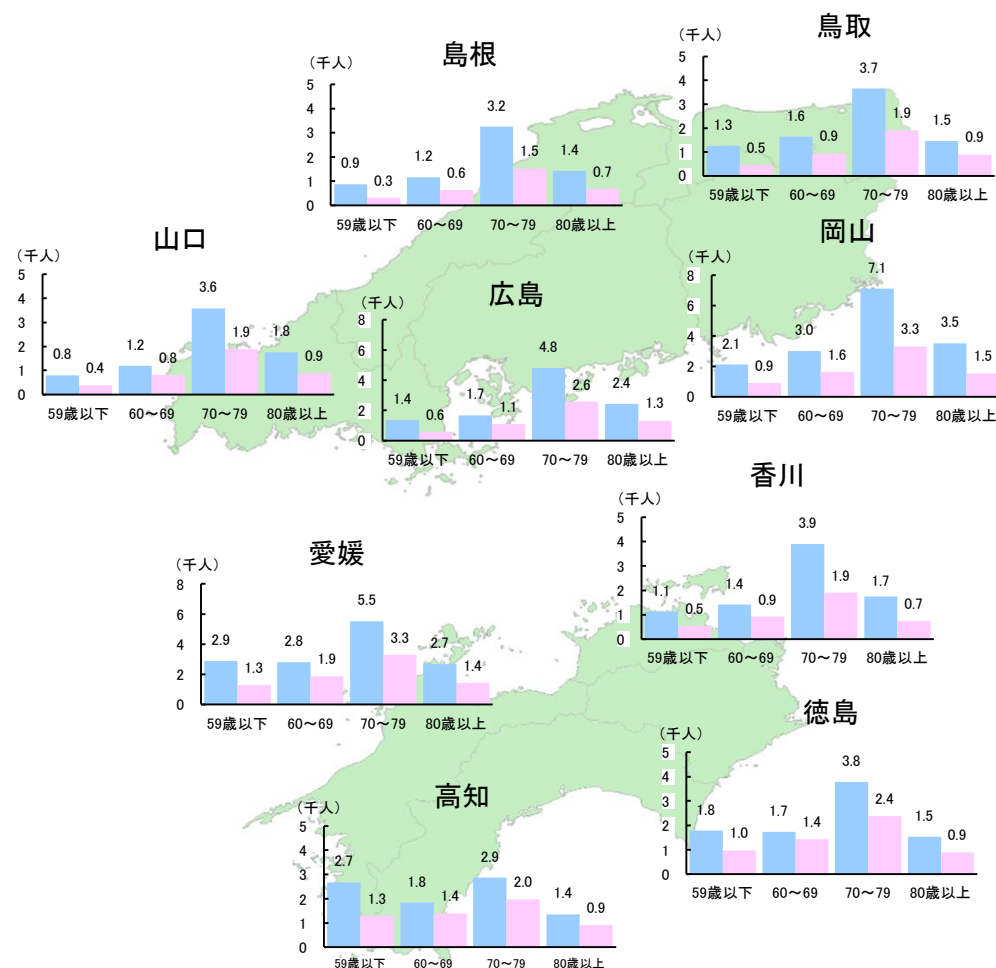
中国地域における令和7年の基幹的農業従事者（個人経営体）を年齢階層別にみると、男女ともに70～79歳の階層が最も多く、59歳以下の階層が最も少なくなっています。

四国地域では、男女ともに70～79歳の階層が最も多く、80歳以上の階層が最も少なくなっています。

男女別年齢階層別 基幹的農業従事者数(令和7年)



県別の男女別年齢階層別 基幹的農業従事者数(令和7年)

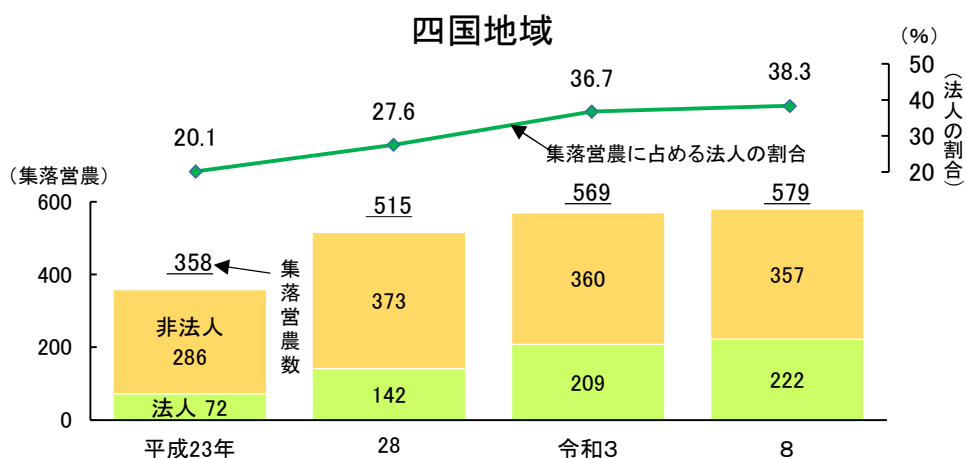
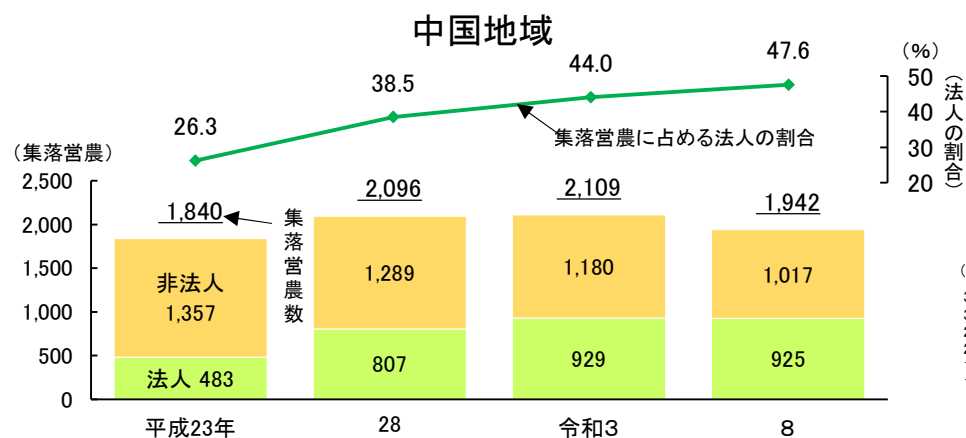


集落営農（集落営農数）

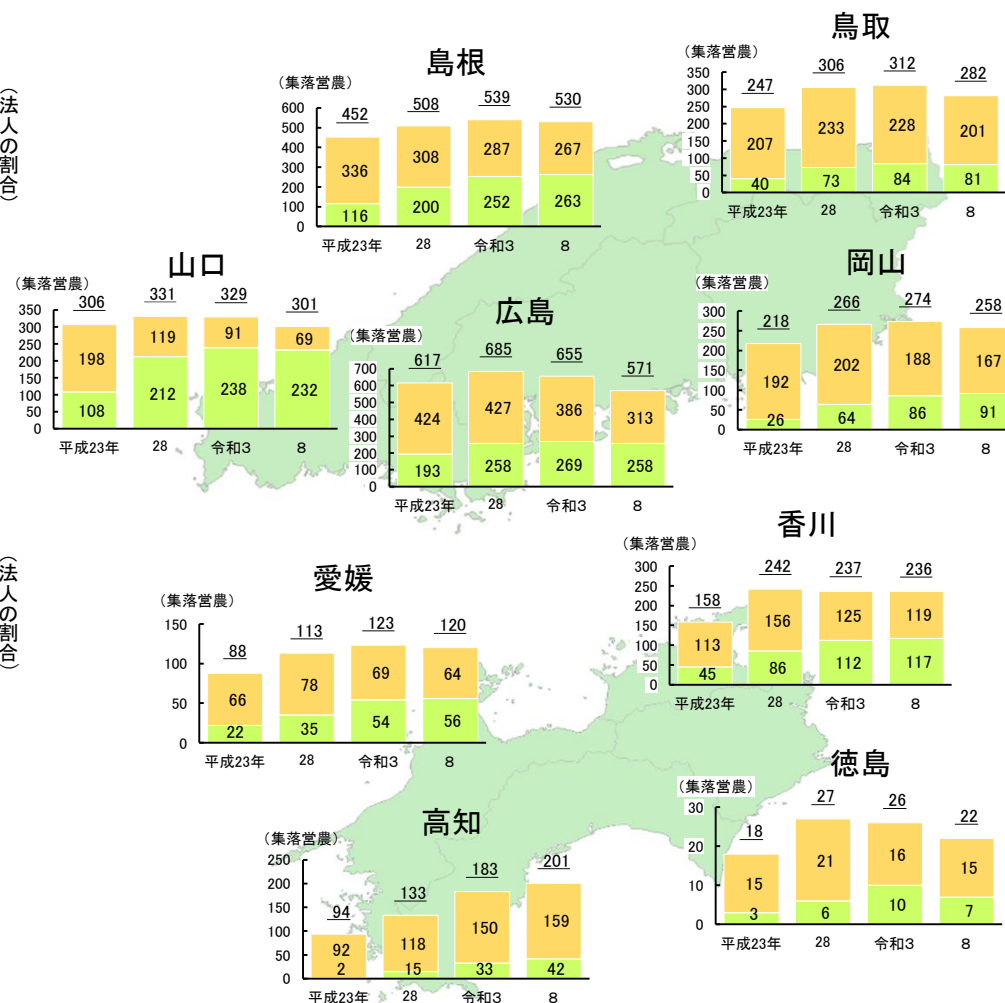
集落営農数は、中国地域では平成30年（2,144集落営農）にピークを迎えた後、減少傾向に転じています。一方、四国地域では同31年（582集落営農）にピークを迎え、以後は概ね同水準で推移しています。

組織形態別には、中国地域・四国地域とも法人化している集落営農の割合が増加しています。

集落営農数の推移



県別の集落営農数の推移

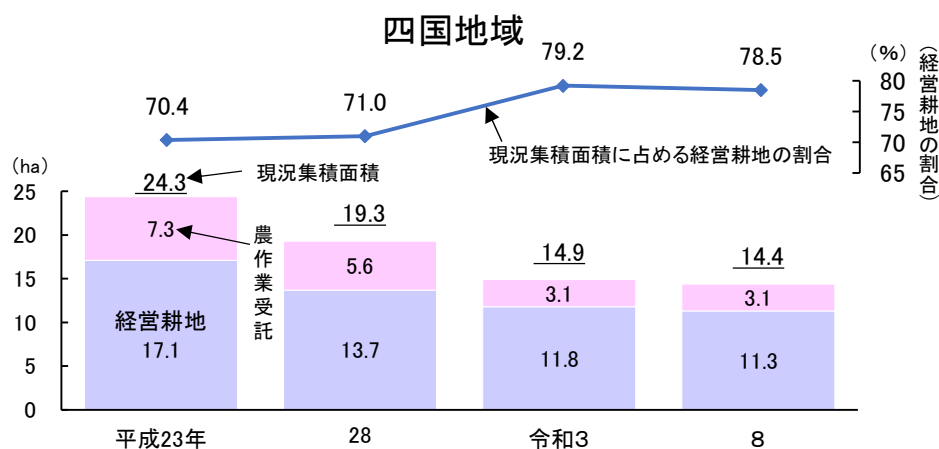
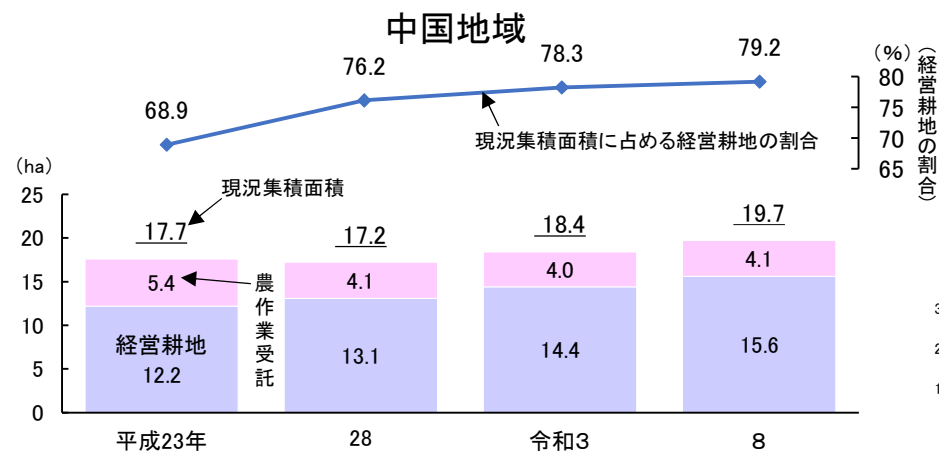


集落営農（1組織当たり現況集積面積）

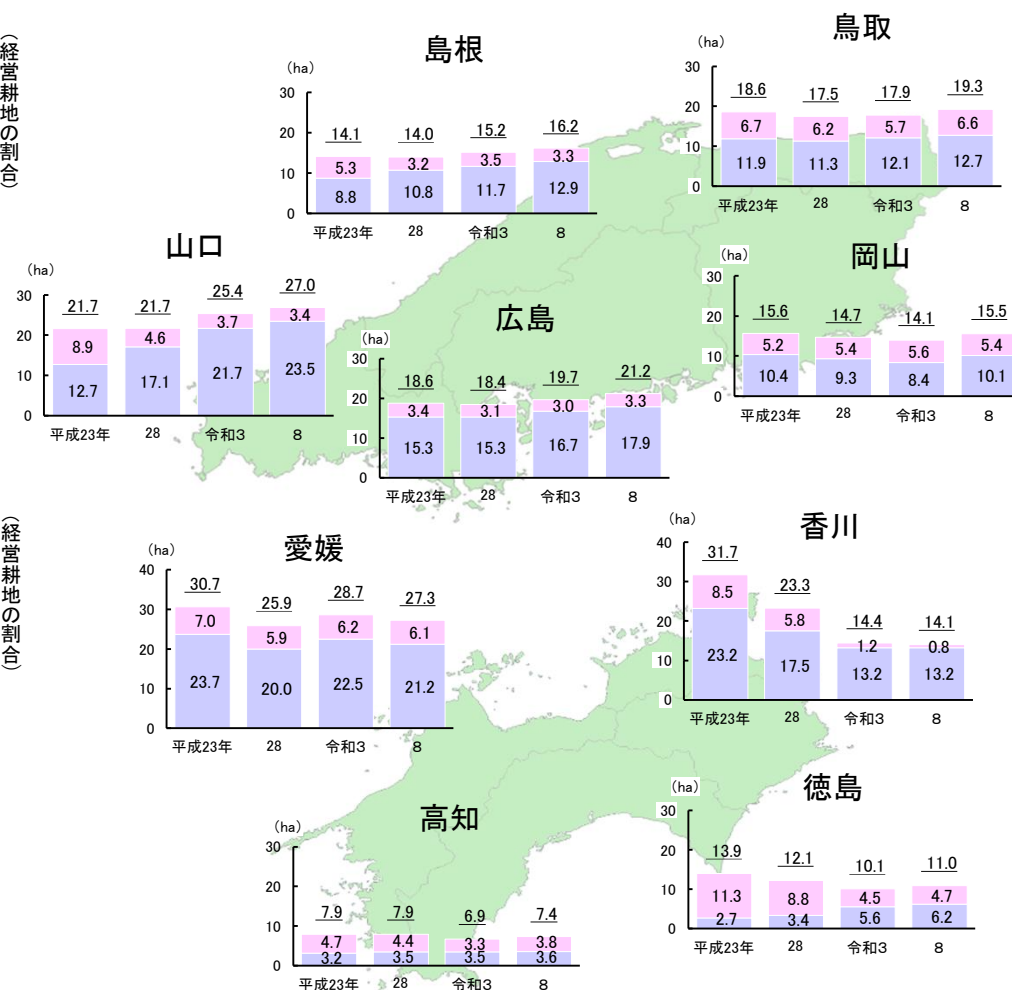
中国四国地域における集落営農1組織当たり現況集積面積を「経営耕地」としての集積と「農作業受託」による集積に分けてみると、中国地域・四国地域とも「経営耕地」の割合が増加し、近年では70%台後半を占めています。

「経営耕地」の割合を県別にみると、最新値（令和8年2月1日現在）で、48.6%（高知）から93.6%（香川）の範囲となっています。

1組織当たり現況集積面積の推移



県別の1組織当たり現況集積面積の推移

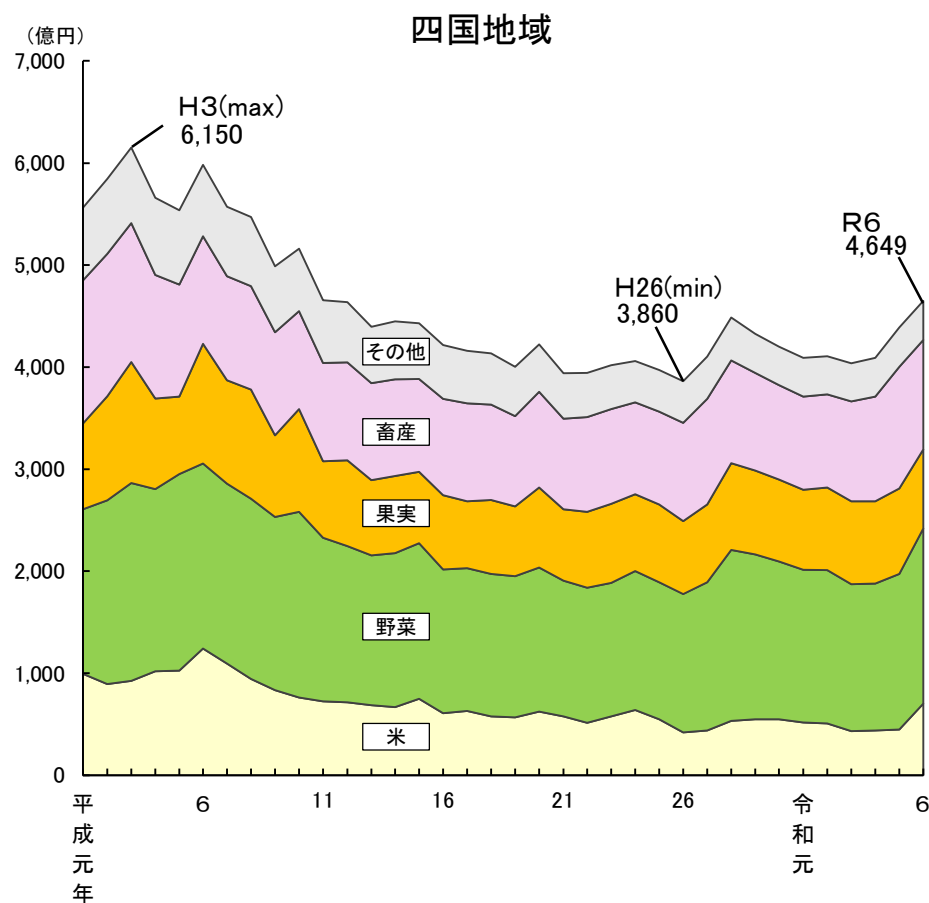
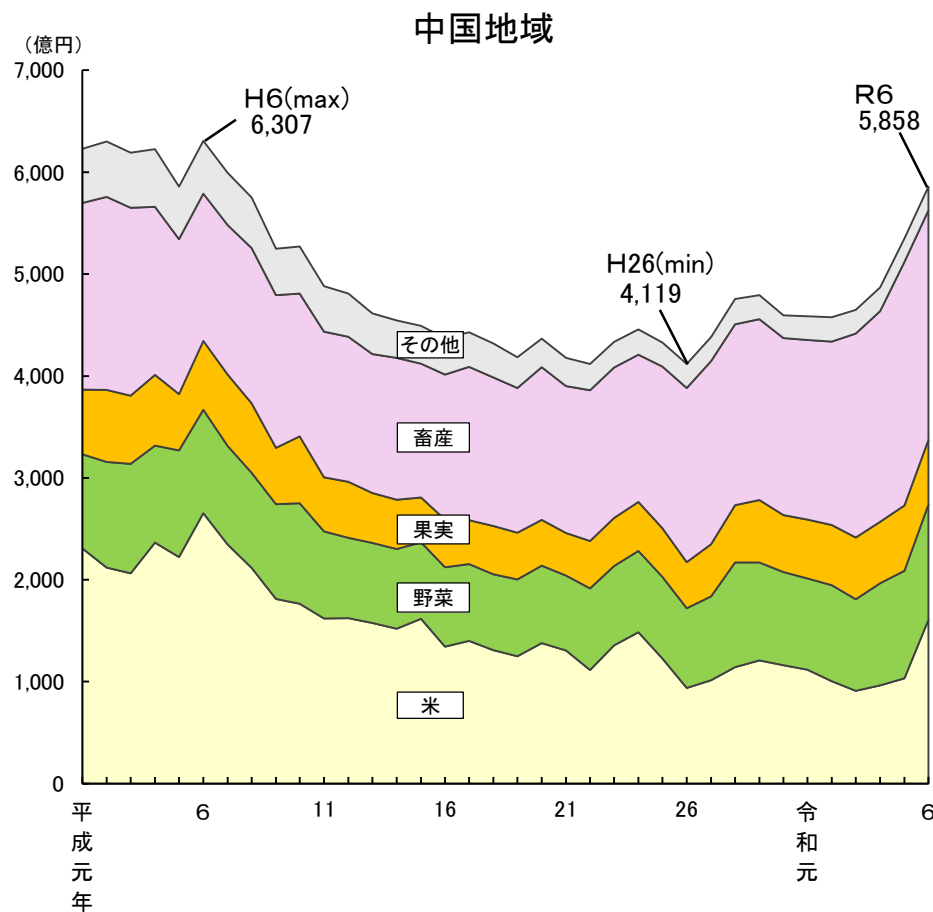


農業産出額

中国地域における農業産出額は、平成6年以降は概ね減少傾向で推移していましたが、近年は増加傾向となっており、令和6年の総額は5,858億円となっています。

四国地域における農業産出額は、平成3年以降は概ね減少傾向で推移していましたが、近年は増加傾向となっており、令和6年の総額は4,649億円となっています。

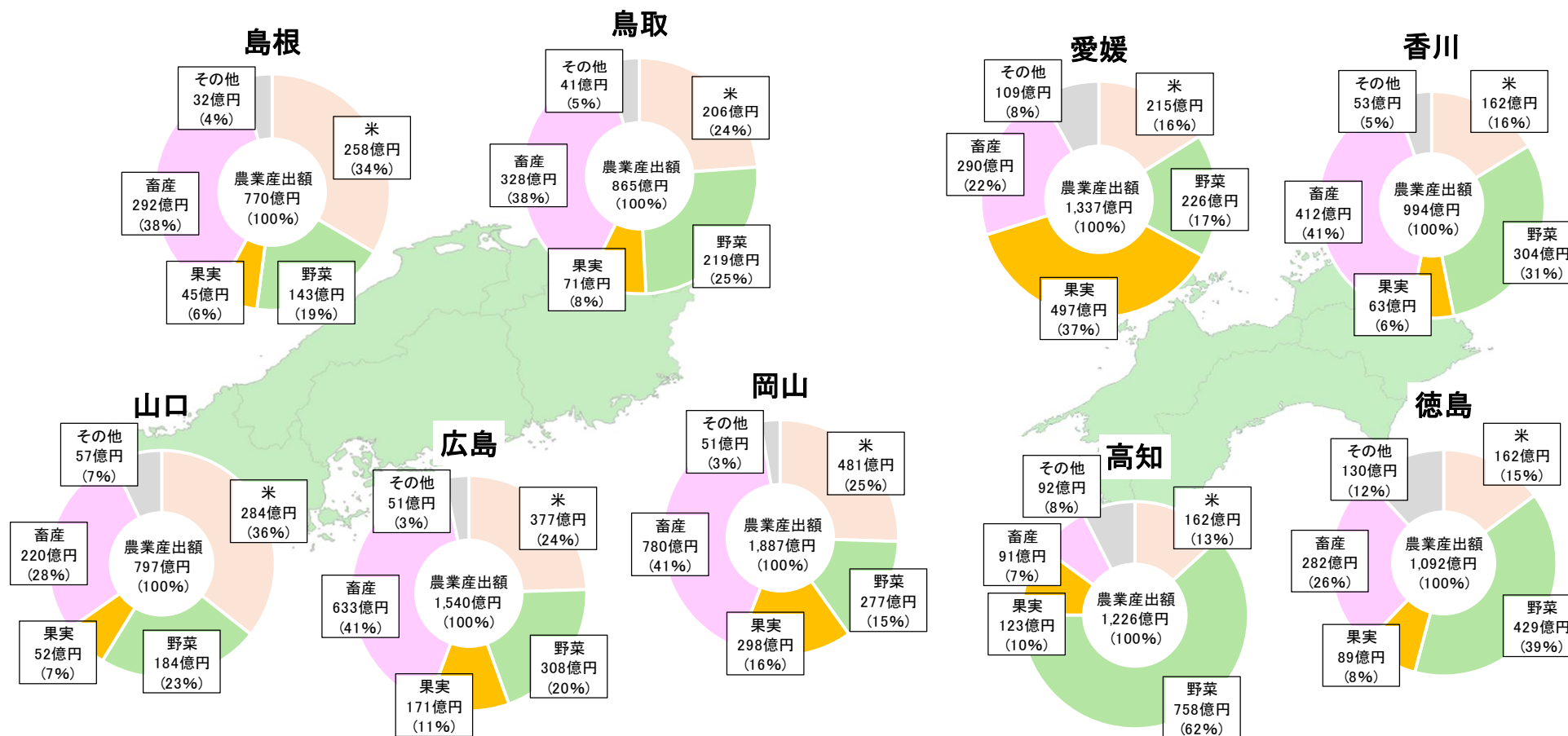
農業産出額の推移



農業産出額（各県の部門別構成）

農業産出額を主な部門別にみると、中国地域では「畜産」「米」「野菜」の部門が多く、四国地域では「野菜」「畜産」「果樹」の部門が多くなっています。

各県における産出額の主な部門別構成(令和6年)



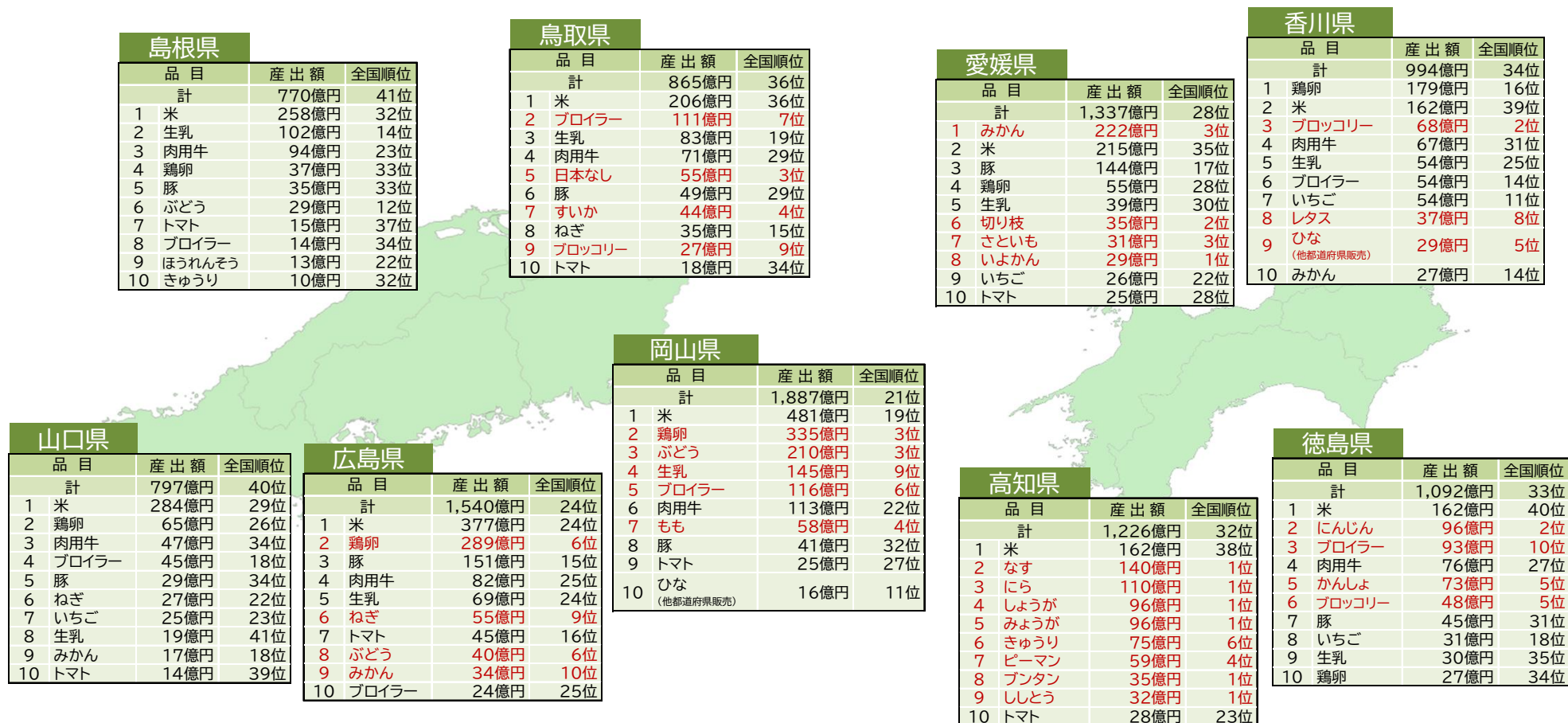
資料：農林水産省「令和6年生産農業所得統計」

注：「その他」は、「米」、「野菜」、「果実」、「畜産」以外をまとめたものです。

農業産出額（各県の主要農畜産物（上位10品目））

農業産出額は各県それぞれ特徴があり、中国地域の5県、徳島県及び高知県では「米」、香川県では「鶏卵」、愛媛県では「みかん」が最も多くなっています。（赤書きは、全国順位が10位以内となった品目です。）

各県における主要農畜産物(上位10品目)の産出額(令和6年)

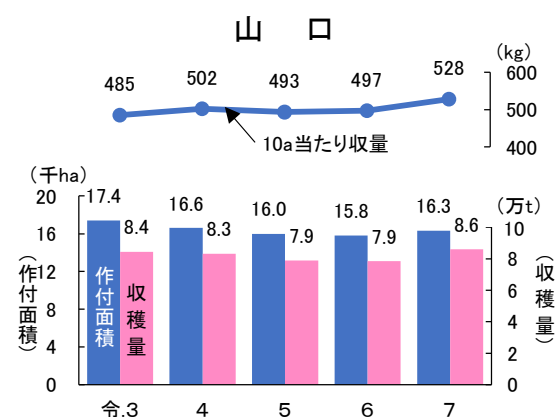
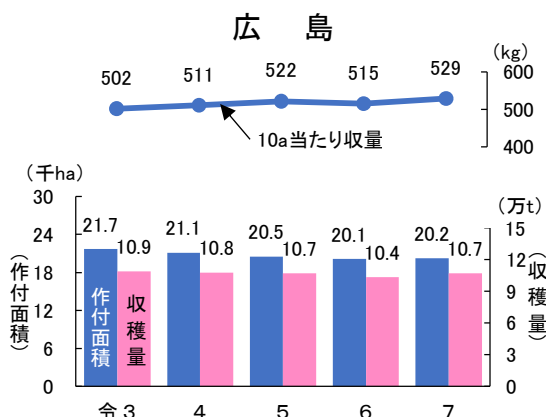
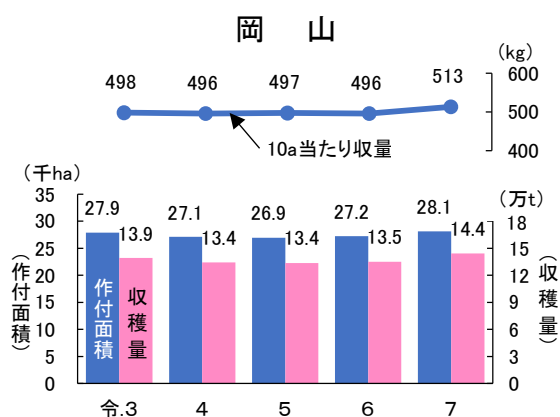
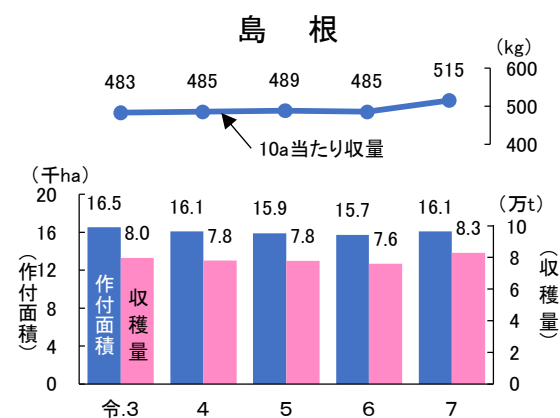
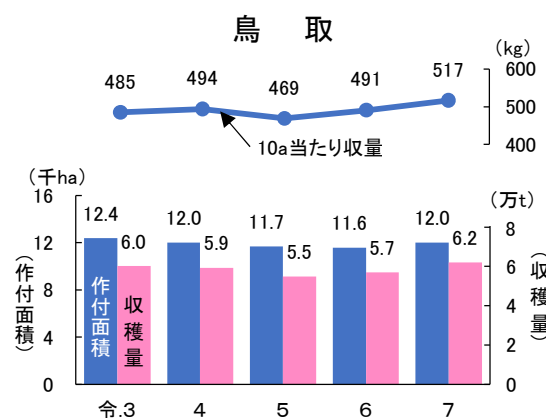
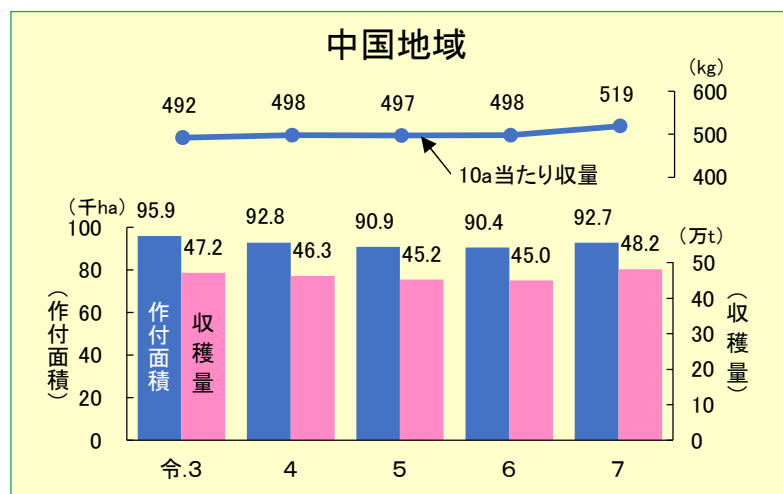


C 農業生産編(耕種)

水稻（主食用）（中国地域）

中国地域の水稻（主食用）の作付面積は、近年減少傾向で推移していましたが、令和7年産は新規需要米や加工用米等からの転換等により、増加しました。10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）も増加したことから、令和7年産の収穫量（注）も増加しました。

作付面積、収穫量及び10a当たり収量の推移



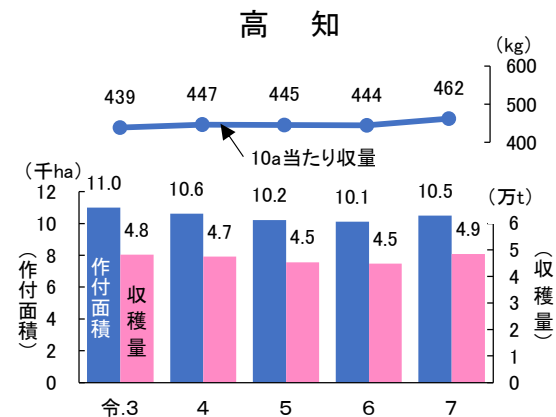
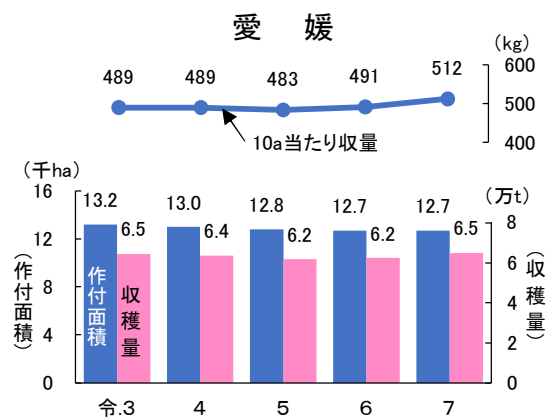
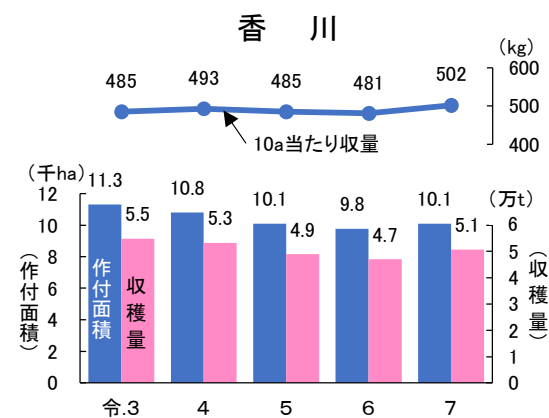
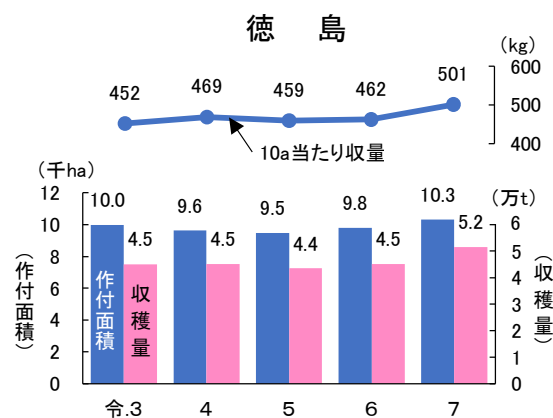
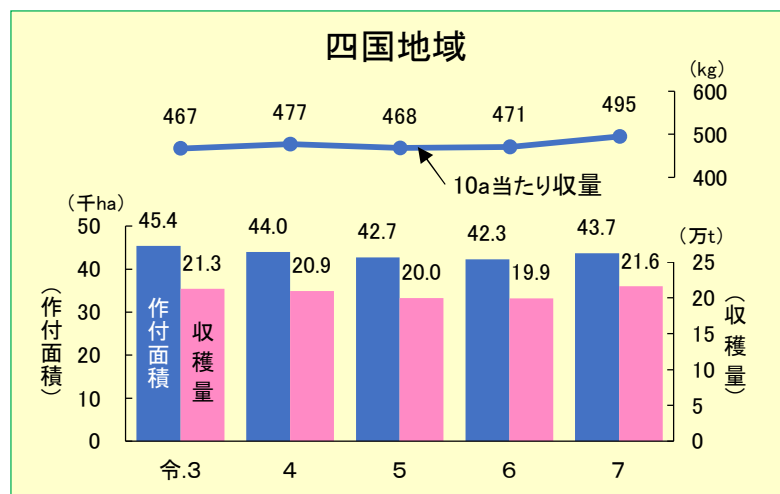
注： 収穫量は、作付面積（主食用）に生産者が使用しているふるい目幅（各県ごとに過去5か年に使用した割合が最も多かった目幅）で選別した場合の10a当たり収量を乗じて算出した玄米の重量です。中国地域の具体的なふるい目幅は、島根県が1.90mm、その他の各県は1.85mmです。

C 農業生産編(耕種)

水稻（主食用）（四国地域）

四国地域の水稻（主食用）の作付面積は、近年減少傾向で推移していましたが、令和7年産は新規需要米や加工用米等からの転換等により、増加しました。10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）も増加したことから、令和7年産の収穫量（注）も増加しました。

作付面積、収穫量及び10a当たり収量の推移



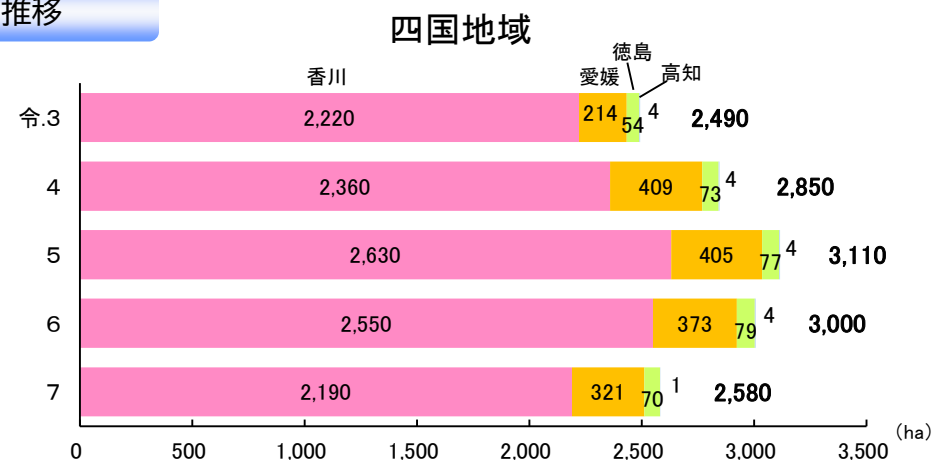
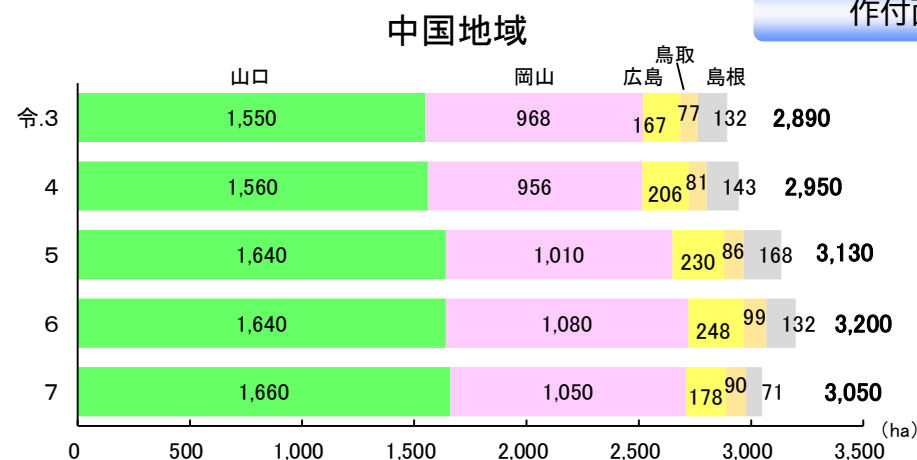
注： 収穫量は、作付面積（主食用）に生産者が使用しているふるい目幅（各県ごとに過去5か年に使用した割合が最も多かった目幅）で選別した場合の10a当たり収量を乗じて算出した玄米の重量です。四国地域の各県の具体的なふるい目幅は、4県とも1.80mmです。

C 農業生産編(耕種)

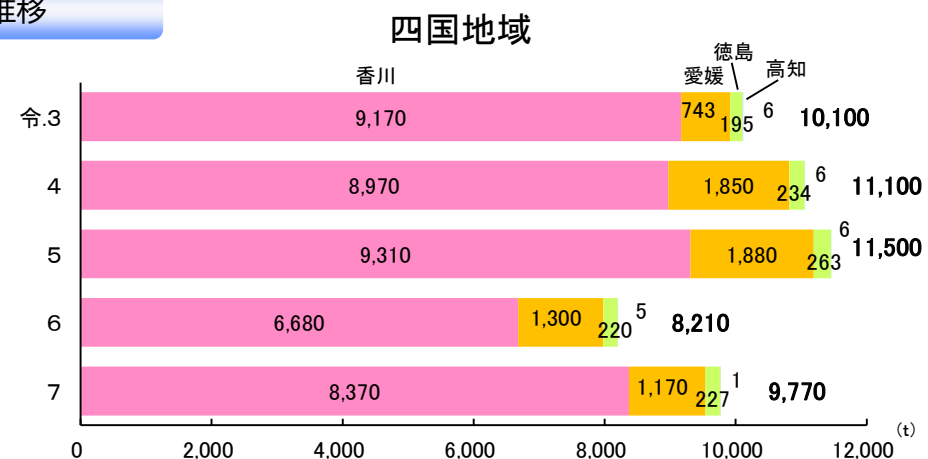
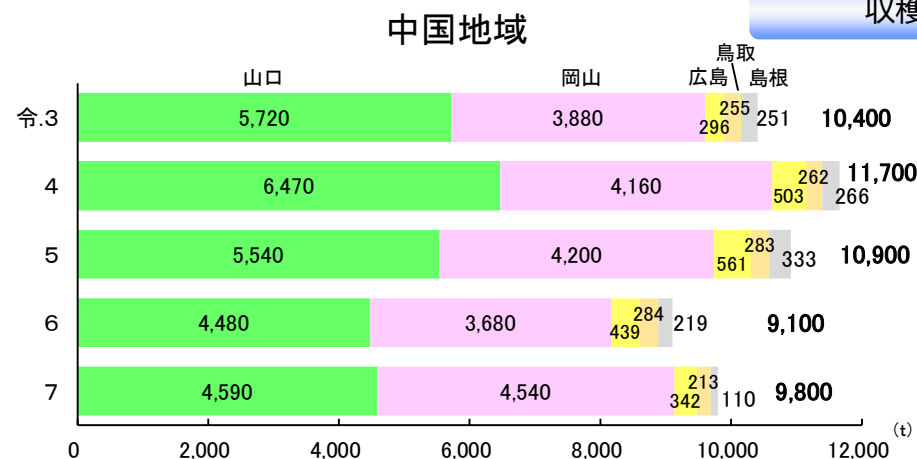
小麦（子実用）

小麦（子実用）の作付面積は、近年増加傾向で推移していましたが、中国地域では令和7年産において、四国地域では6年産において、減少に転じました。中国地域は山口県及び岡山県が、四国地域は香川県が大半を占めています。
収穫量は、気象条件の影響を受けやすいため、年産・地域別に増減が見られます。

作付面積の推移



収穫量の推移

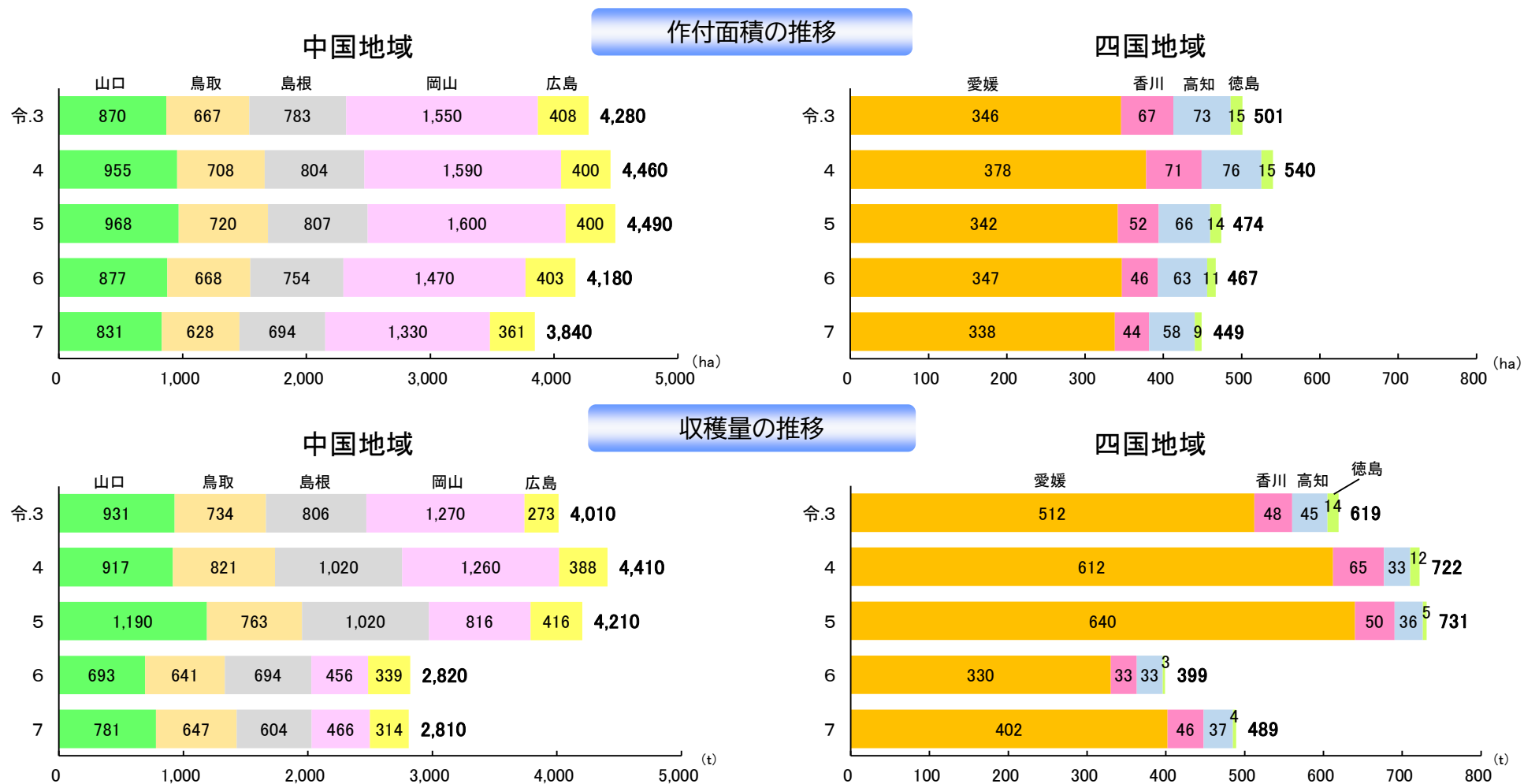


C 農業生産編(耕種)

大豆（乾燥子実）

大豆（乾燥子実）の作付面積は、中国地域では岡山県が多く、山口県、島根県、鳥取県、広島県の順となっています。四国地域では愛媛県が多くなっています。

収穫量は、中国地域では山口県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県の順となっています。四国地域では愛媛県が多くなっています。

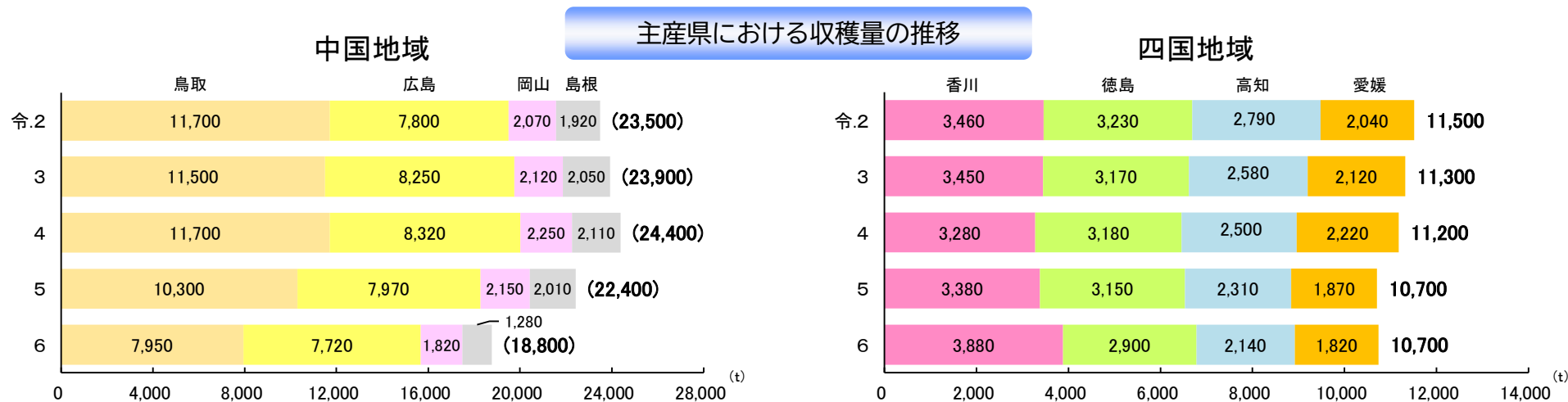
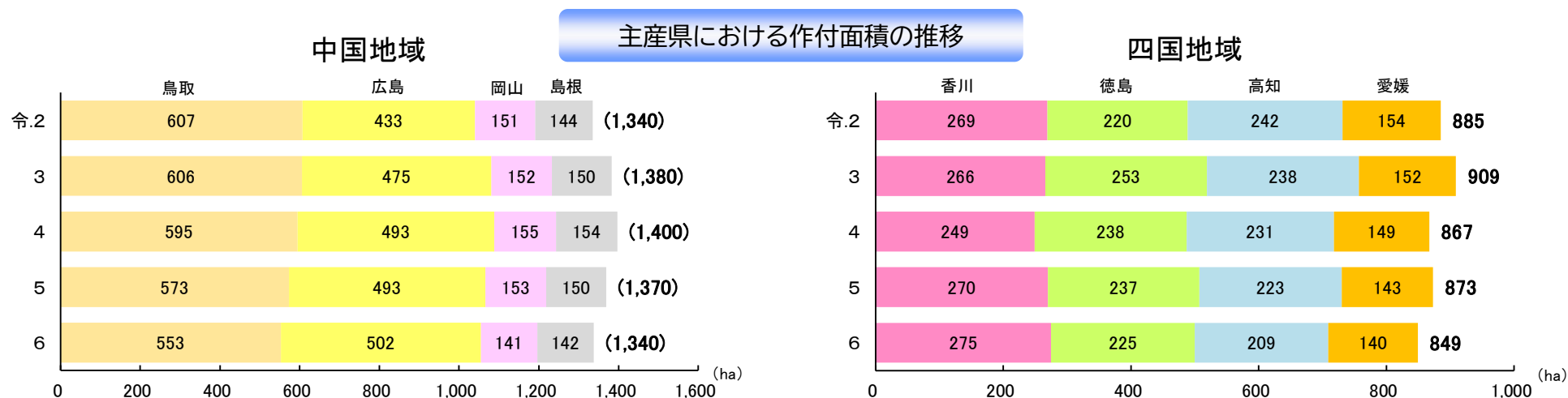


C 農業生産編(耕種)

野菜（ねぎ）

ねぎの作付面積は、中国地域では鳥取県、広島県が多く、島根県、岡山県がほぼ同水準となっています。四国地域では香川県、徳島県、高知県、愛媛県の順となっています。

収穫量は、中国地域では鳥取県、広島県が多く、岡山県、島根県の順となっています。四国地域では香川県、徳島県、高知県、愛媛県の順となっています。



中国四国地域の主産県調査対象：鳥取・島根・岡山・広島・徳島・香川・愛媛・高知（8県）

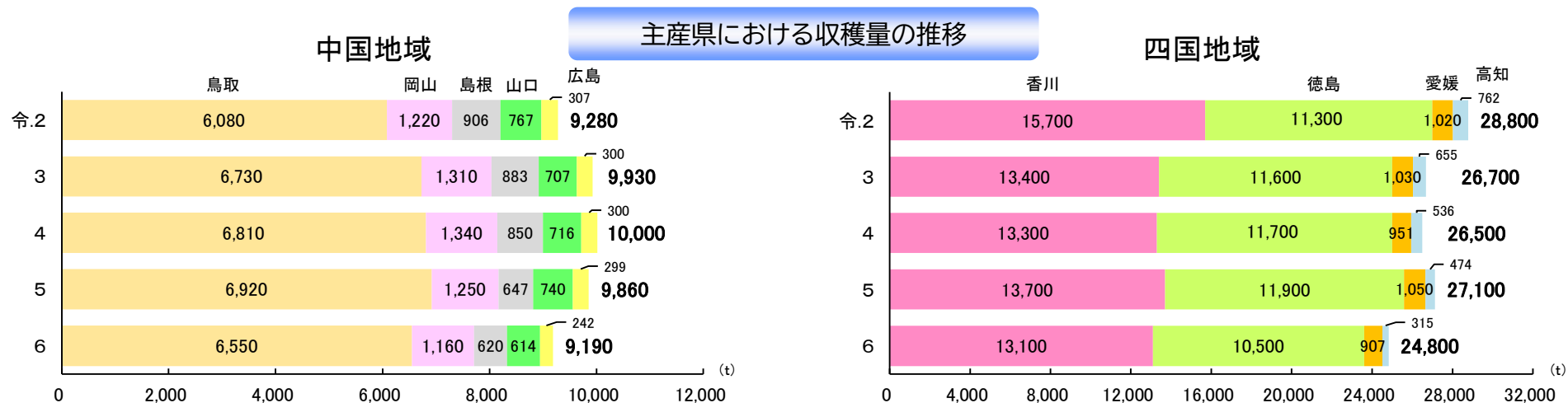
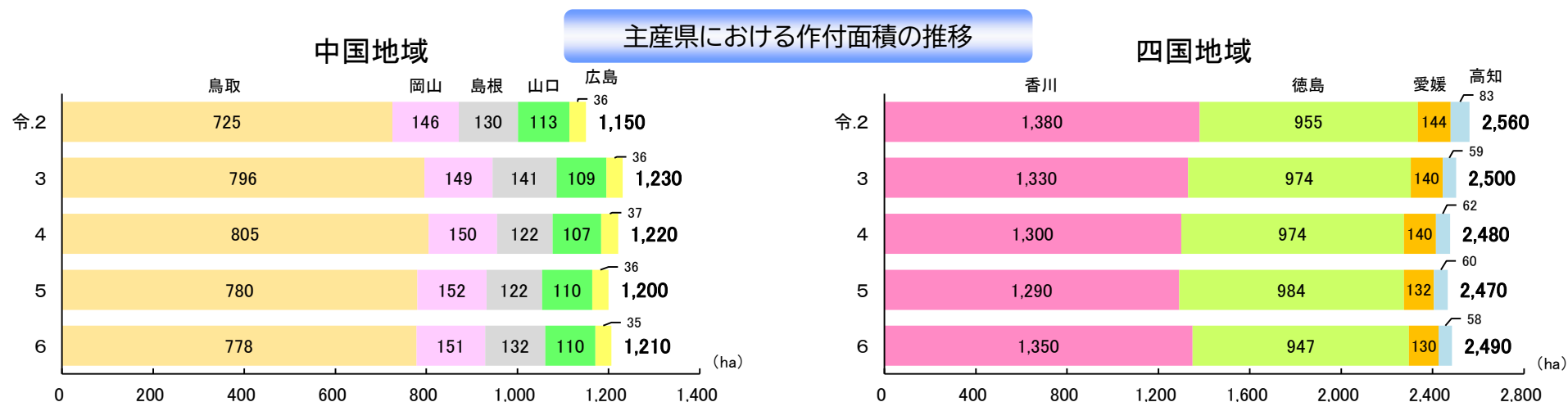
注： グラフ中、中国地域・四国地域の計の表示に括弧を付しているものは、該当する公表値がないため、各主産県値を積み上げた参考値を記載しました。（以下、野菜及び果樹の資料について同様です。）

C 農業生産編(耕種)

野菜（ブロッコリー）

ブロッコリーの作付面積は、中国地域では鳥取県が多く、岡山県、島根県、山口県、広島県の順となっています。四国地域では香川県、徳島県が多く、愛媛県、高知県の順となっています。

収穫量は、中国地域では鳥取県が多く、岡山県、島根県、山口県、広島県の順となっています。四国地域では香川県、徳島県が多く、愛媛県、高知県の順となっています。



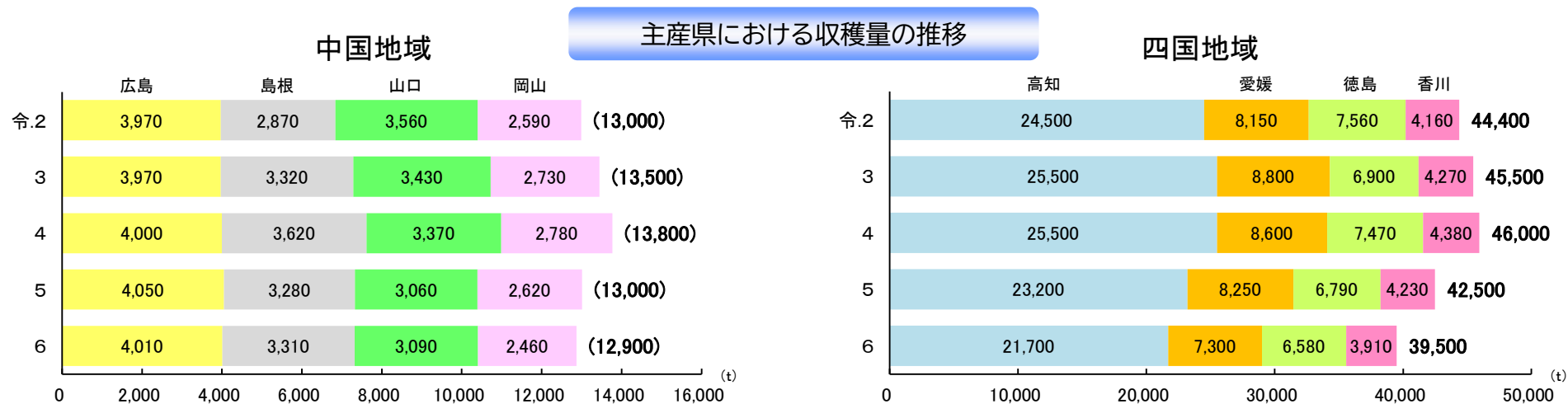
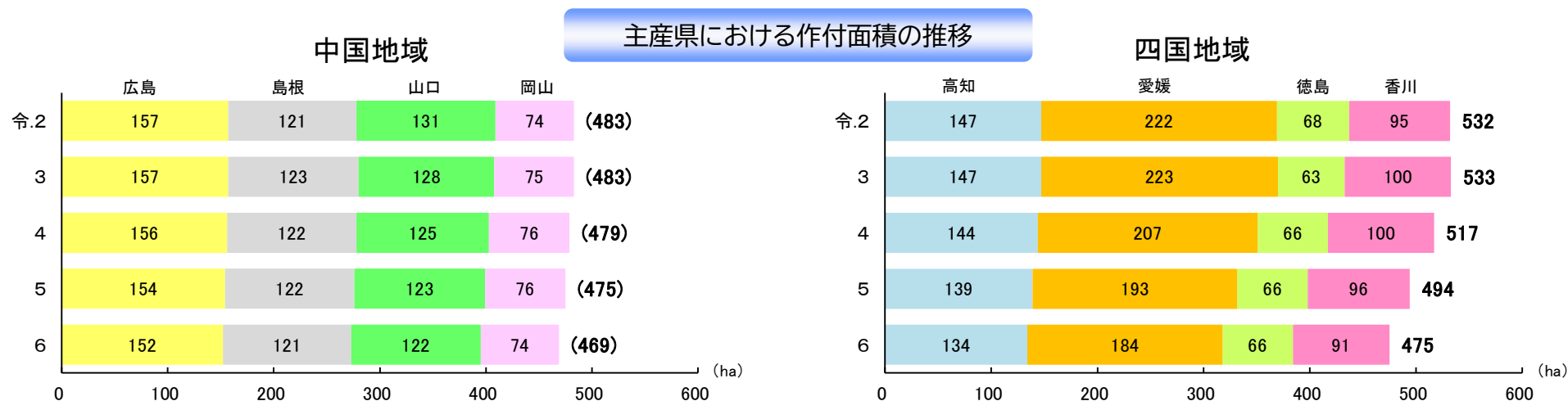
中国四国地域の主産県調査対象：鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知（9県）

C 農業生産編(耕種)

野菜（きゅうり）

きゅうりの作付面積は、中国地域では広島県、山口県、島根県、岡山県の順となっています。四国地域では愛媛県、高知県、香川県、徳島県の順となっています。

収穫量は、中国地域では広島県、島根県、山口県、岡山県の順となっています。四国地域では高知県が多く、愛媛県、徳島県、香川県の順となっています。



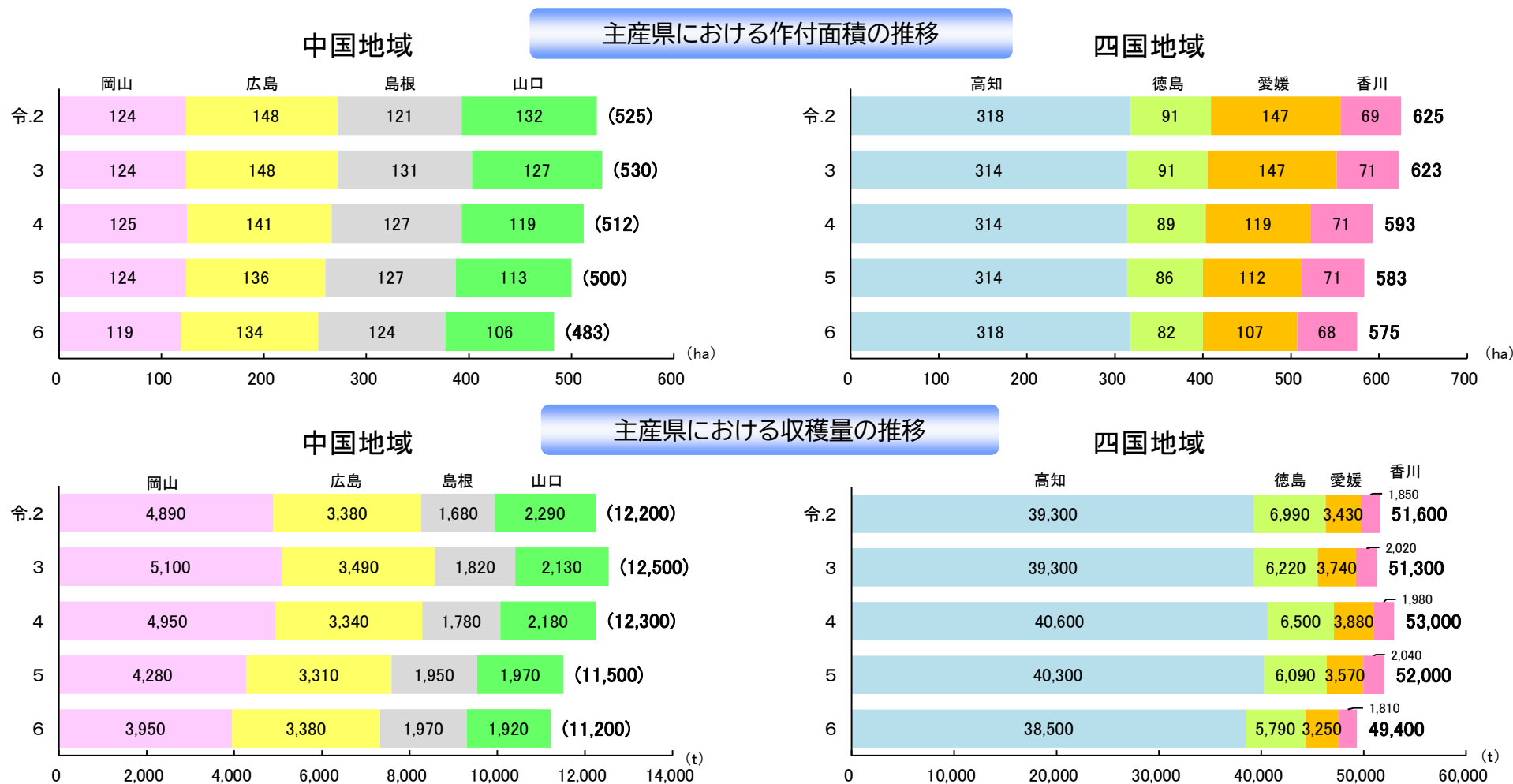
中国四国地域の主産県調査対象：島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知（8県）

C 農業生産編(耕種)

野菜（なす）

なすの作付面積は、中国地域では広島県、島根県、岡山県、山口県の順となっています。四国地域では高知県が多く、愛媛県、徳島県、香川県の順となっています。

収穫量は、中国地域では岡山県が多く、広島県、島根県、山口県の順となっています。四国地域では高知県が多く、徳島県、愛媛県、香川県の順となっています。



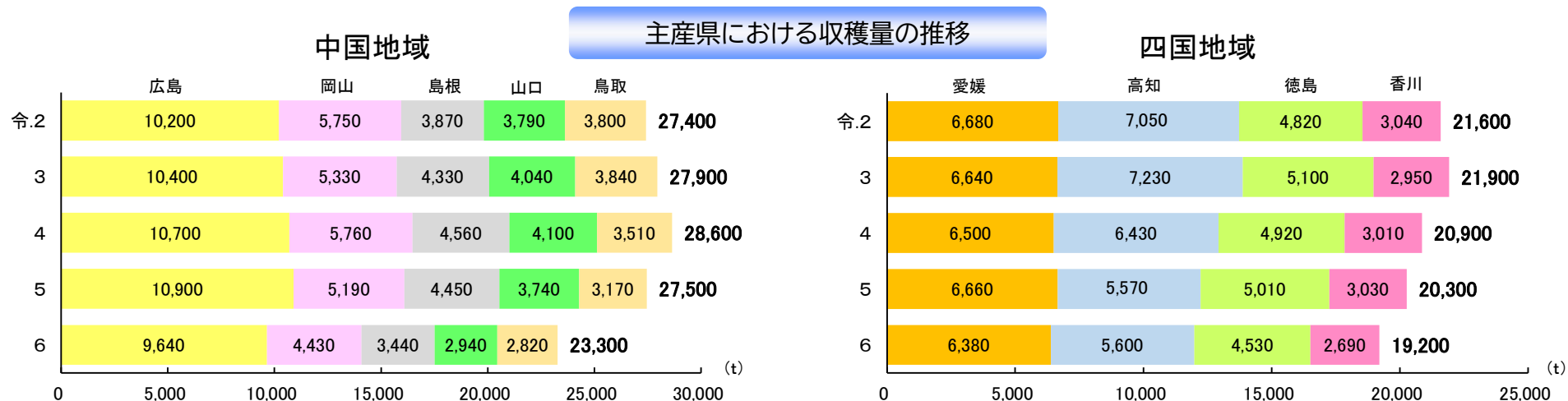
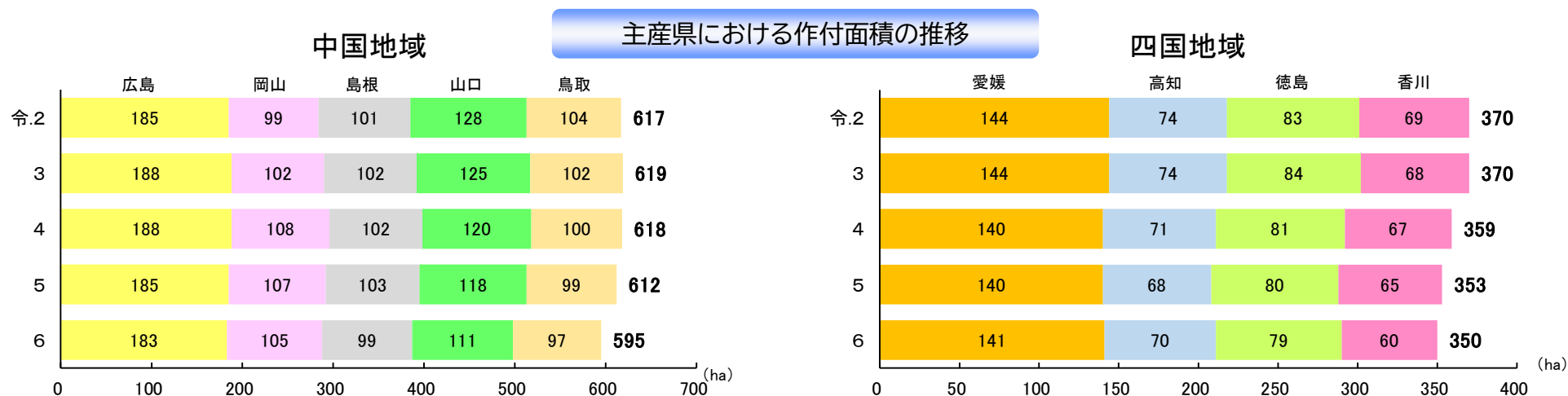
中国四国地域の主産県調査対象：島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知（8県）

C 農業生産編(耕種)

野菜(トマト)

トマトの作付面積は、中国地域では広島県、山口県、岡山県、島根県、鳥取県の順となっています。四国地域では愛媛県が多く、徳島県、高知県、香川県の順となっています。

収穫量は、中国地域では広島県が多く、岡山県、島根県、山口県、鳥取県の順となっています。四国地域では愛媛県、高知県、徳島県、香川県の順となっています。



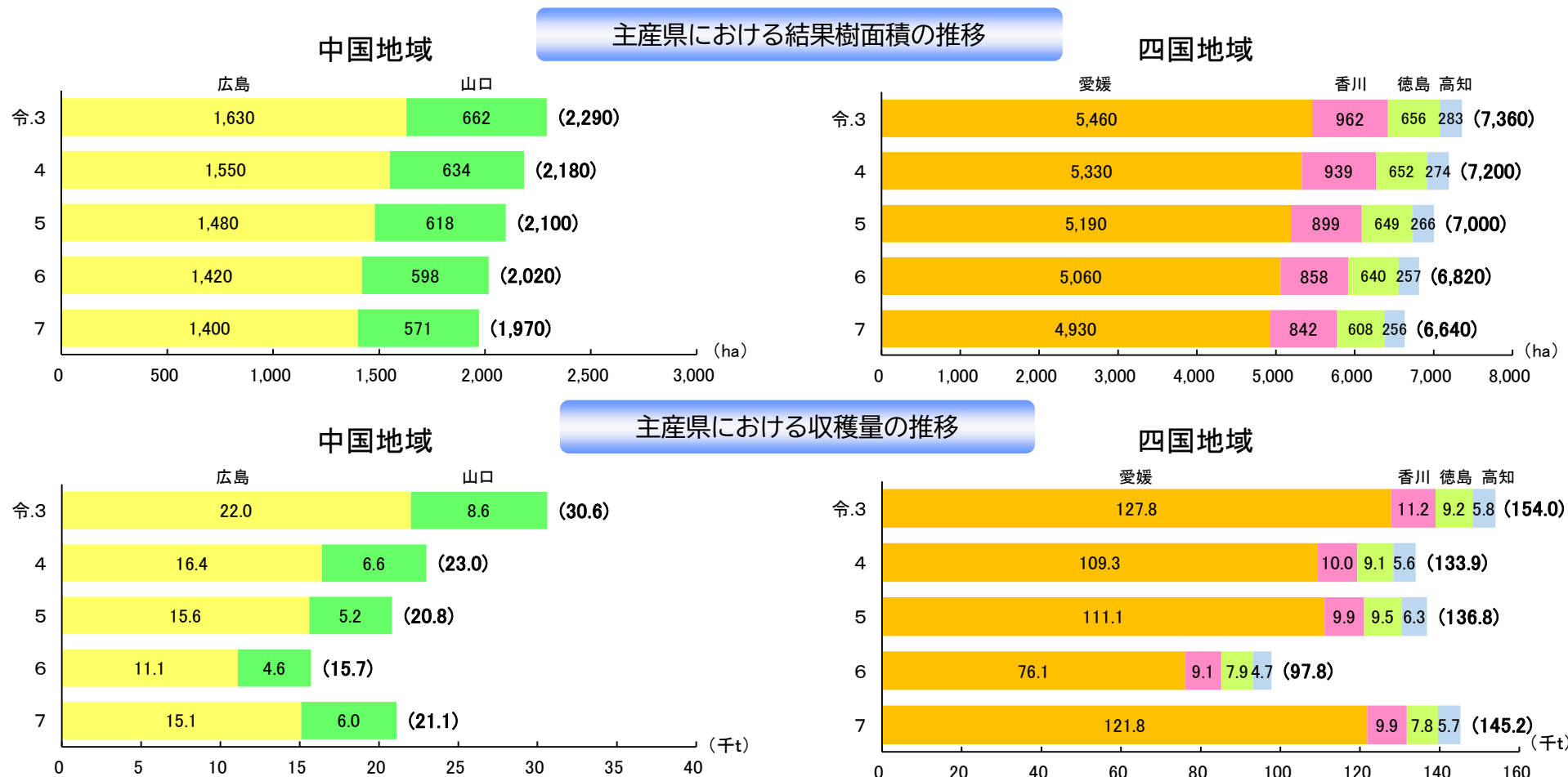
中国四国地域の主産県調査対象：鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知(9県)

C 農業生産編(耕種)

果樹（みかん）

みかんの結果樹面積は、中国地域では広島県、山口県の順となっています。四国地域では愛媛県が多く、香川県、徳島県、高知県の順となっています。

収穫量は、中国地域では広島県、山口県の順となっています。四国地域では愛媛県が多く、香川県、徳島県、高知県の順となっています。



中国四国地域の主産県調査対象：広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知（6県）

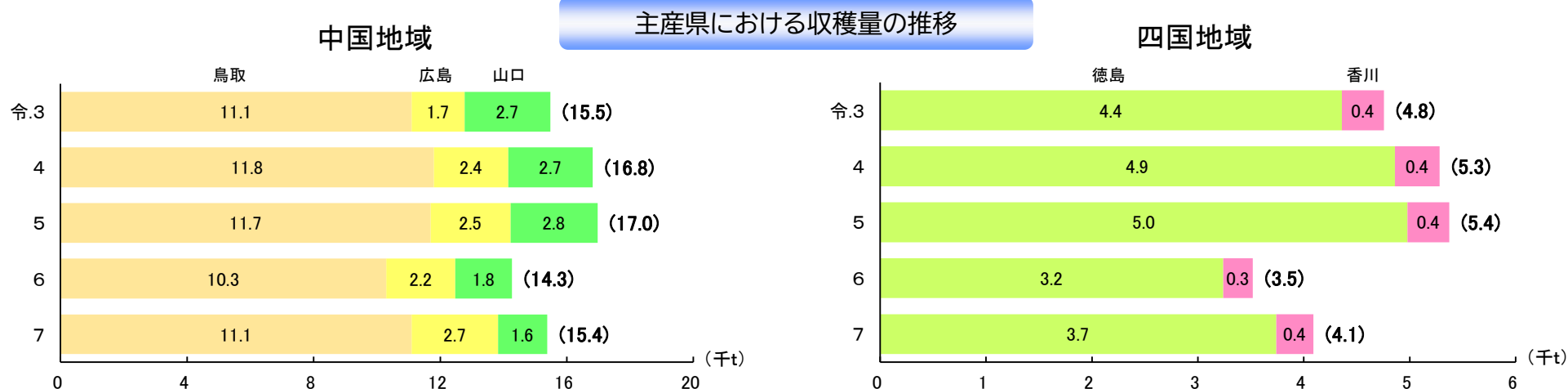
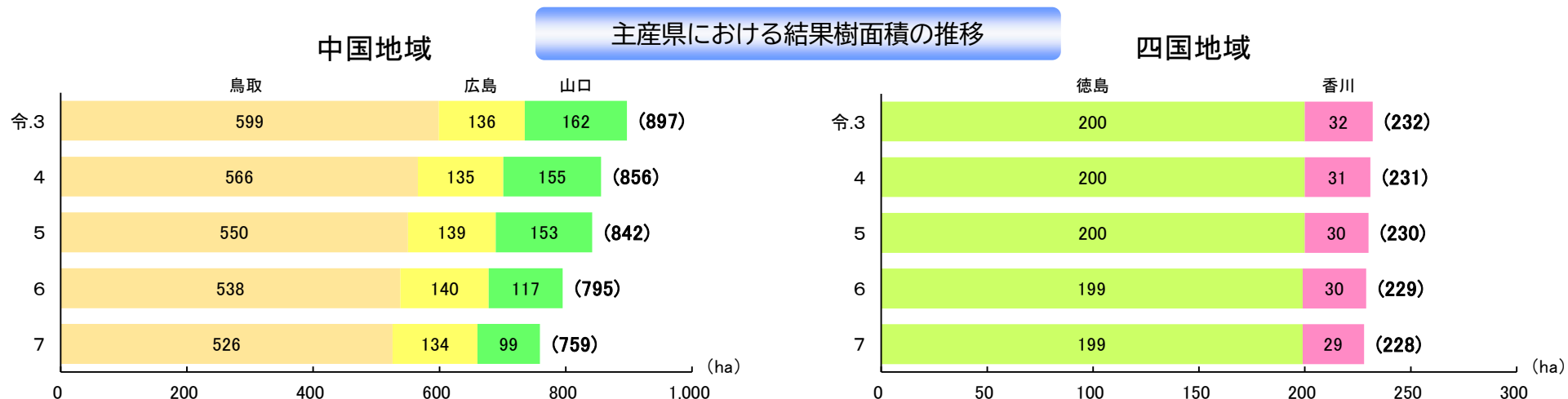
資料：農林水産省「作物統計調査」

C 農業生産編(耕種)

果樹（日本なし）

日本なしの結果樹面積は、中国地域では鳥取県が多く、広島県、山口県の順となっています。四国地域では徳島県、香川県の順となっています。

収穫量は、中国地域では鳥取県が多く、広島県、山口県の順となっています。四国地域では徳島県、香川県の順となっています。



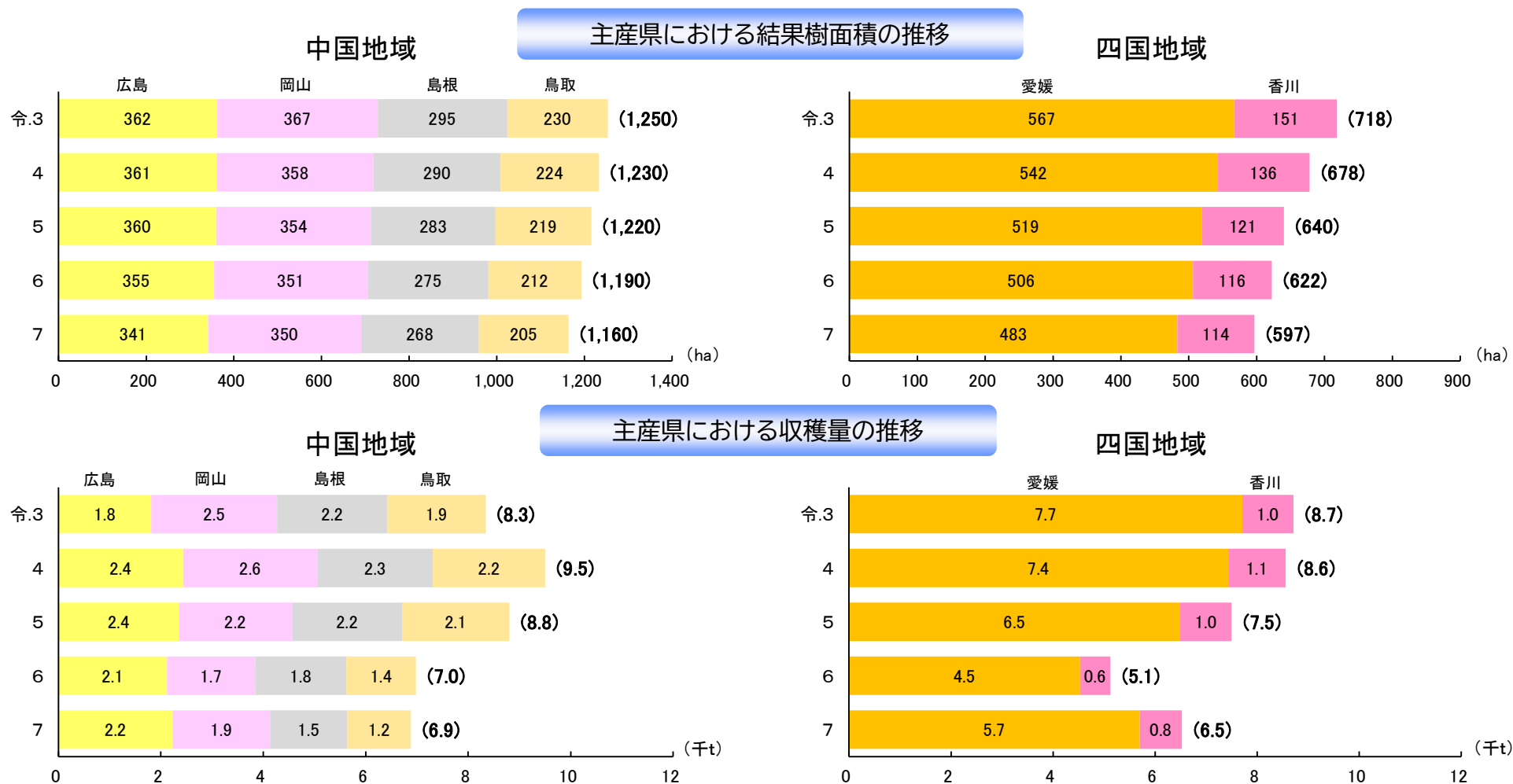
中国四国地域の主産県調査対象：鳥取・広島・山口・徳島・香川(5県)

C 農業生産編(耕種)

果樹（かき）

かきの結果樹面積は、中国地域では岡山県、広島県、島根県、鳥取県の順となっています。四国地域では愛媛県、香川県の順となっています。

収穫量は、中国地域では広島県、岡山県、島根県、鳥取県の順となっています。四国地域では愛媛県、香川県の順となっています。



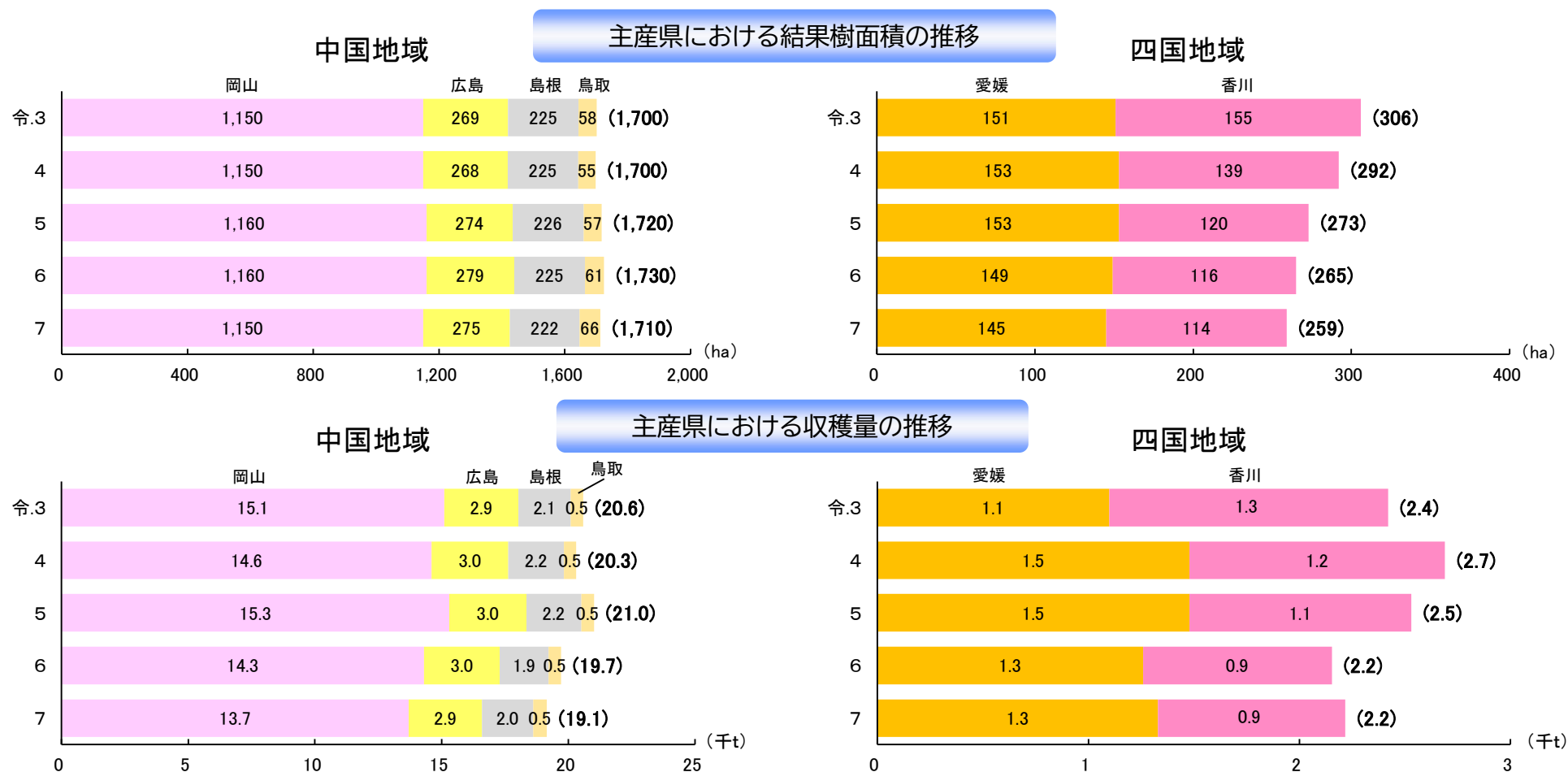
中国四国地域の主産県調査対象：鳥取・島根・岡山・広島・香川・愛媛(6県)

C 農業生産編(耕種)

果樹（ぶどう）

ぶどうの結果樹面積は、中国地域では岡山県が多く、広島県、島根県、鳥取県の順となっています。四国地域では愛媛県、香川県の順となっています。

収穫量は、中国地域では岡山県が多く、広島県、島根県、鳥取県の順となっています。四国地域では愛媛県、香川県の順となっています。



中国四国地域の主産県調査対象：鳥取・島根・岡山・広島・香川・愛媛(6県)

資料：農林水産省「作物統計調査」

D 農業生産編(畜産)

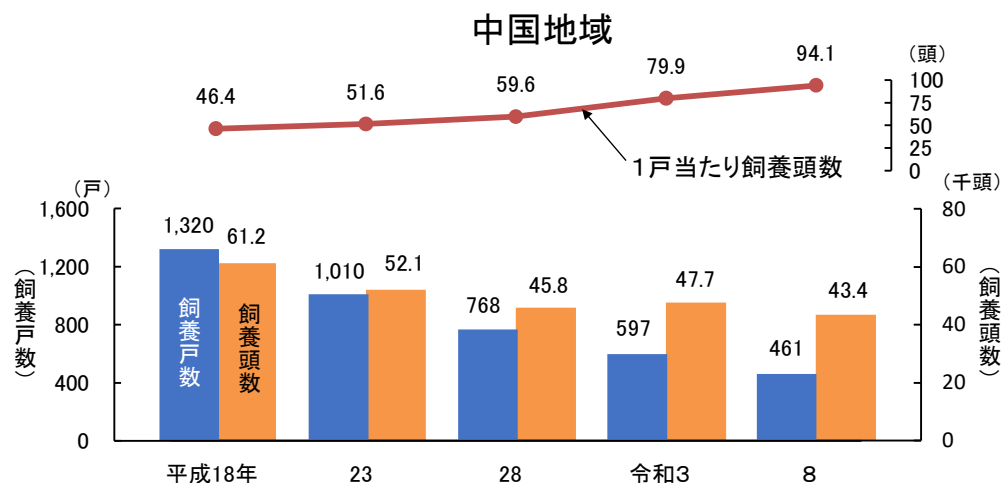
畜産（乳用牛）

中国四国地域における乳用牛の飼養戸数は、減少傾向で推移しており、令和8年は20年前（平成18年）に比べ、中国地域では65.1%、四国地域では72.4%それぞれ減少しています。

飼養頭数も減少傾向で推移しており、20年前に比べ、中国地域では29.1%、四国地域では50.5%それぞれ減少しています。

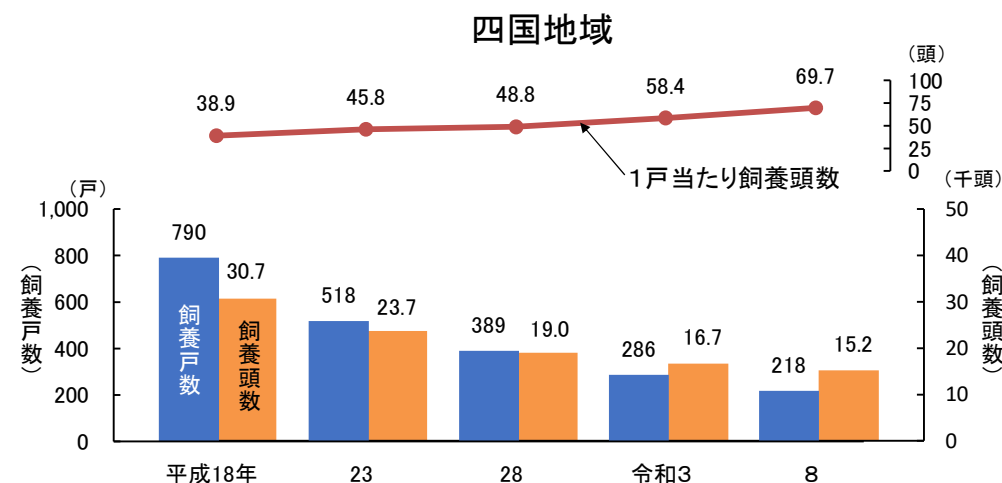
1戸当たり飼養頭数は、増加傾向で推移しており、令和8年は20年前に比べ、中国地域では102.8%、四国地域では79.2%それぞれ増加しています。

飼養戸数・飼養頭数及び1戸当たり飼養頭数の推移



県別の飼養戸数・飼養頭数及び1戸当たり飼養頭数(令和8年)

県名	飼養戸数 (戸)	飼養頭数 (頭)	1戸当たり 飼養頭数 (頭)
鳥取	91	8,420	92.5
島根	66	10,300	156.1
岡山	163	14,900	91.4
広島	97	7,390	76.2
山口	44	2,310	52.5



県名	飼養戸数 (戸)	飼養頭数 (頭)	1戸当たり 飼養頭数 (頭)
徳島	60	3,050	50.8
香川	50	5,040	100.8
愛媛	69	4,290	62.2
高知	39	2,800	71.8

注： 令和2年以降は、牛個体識別全国データベース等の行政記録情報や関係統計により作成した加工統計です。

D 農業生産編(畜産)

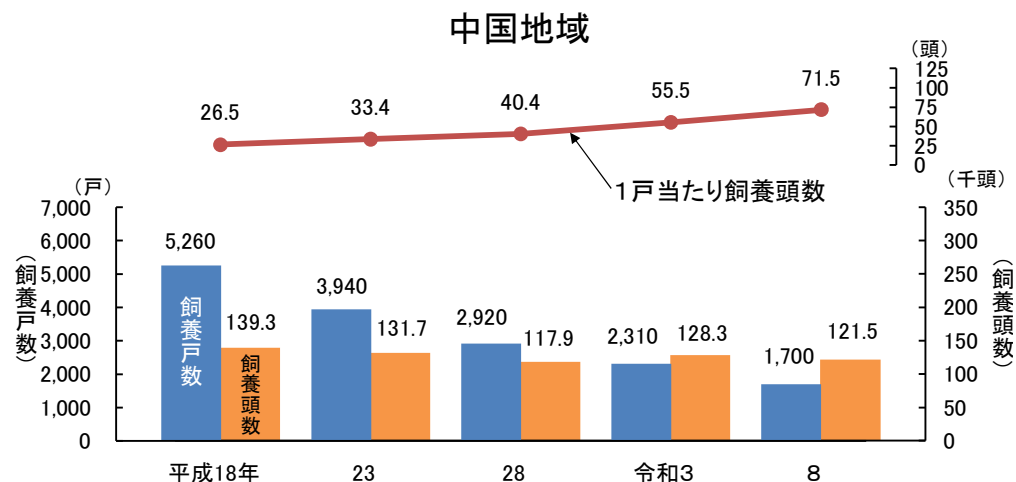
畜産（肉用牛）

中国四国地域における肉用牛の飼養戸数は、減少傾向で推移しており、令和8年は20年前（平成18年）に比べ、中国地域では67.7%、四国地域では61.9%それぞれ減少しています。

飼養頭数は、令和に入って増加傾向にあるものの、20年前に比べ、中国地域では12.8%、四国地域では22.4%それぞれ減少しています。

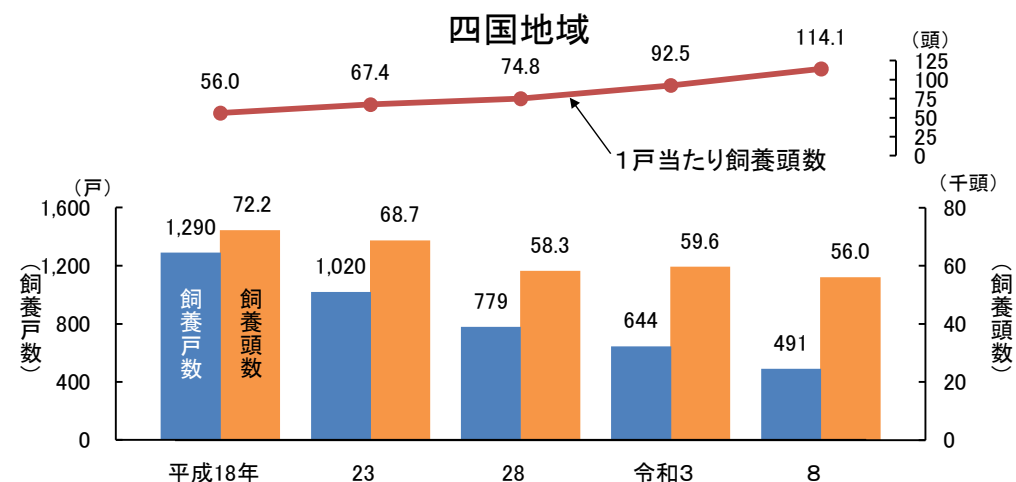
1戸当たり飼養頭数は、増加傾向で推移しており、令和8年は20年前に比べ、中国地域では169.8%、四国地域では103.8%それぞれ増加しています。

飼養戸数・飼養頭数及び1戸当たり飼養頭数の推移



県別の飼養戸数・飼養頭数及び1戸当たり飼養頭数(令和8年)

県名	飼養戸数 (戸)	飼養頭数 (頭)	1戸当たり 飼養頭数 (頭)
鳥取	211	21,100	100.0
島根	543	31,000	57.1
岡山	324	31,500	97.2
広島	343	25,200	73.5
山口	278	12,700	45.7



県名	飼養戸数 (戸)	飼養頭数 (頭)	1戸当たり 飼養頭数 (頭)
徳島	142	20,500	144.4
香川	131	21,100	161.1
愛媛	120	8,580	71.5
高知	98	5,780	59.0

注： 令和2年以降は、牛個体識別全国データベース等の行政記録情報や関係統計により作成した加工統計です。

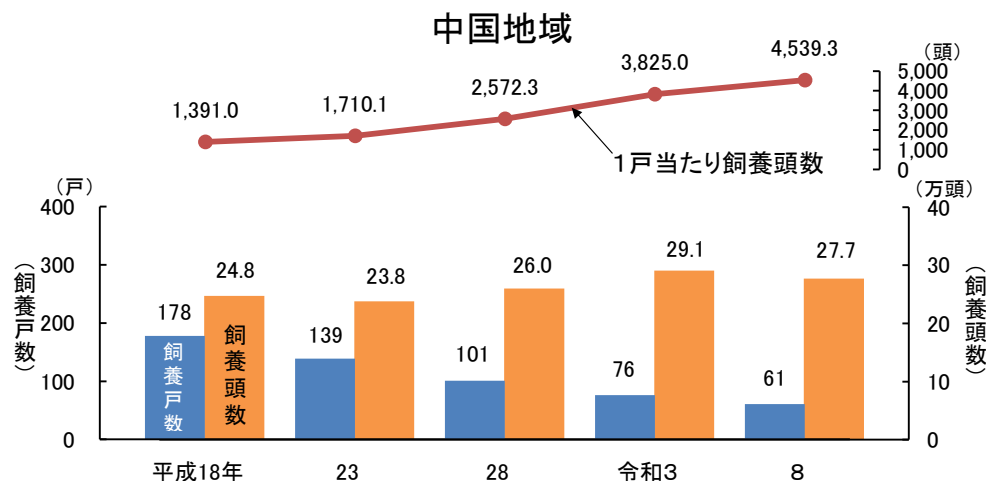
D 農業生産編(畜産)

畜産（豚）

中国四国地域における豚の飼養戸数は、減少傾向で推移しており、令和8年は20年前（平成18年）に比べ、中国地域では65.7%、四国地域では62.8%それぞれ減少しています。飼養頭数は、中国地域では増加傾向で推移しており、20年前に比べ、11.8%増加しています。四国地域では概ね減少傾向で推移しており、20年前に比べ、15.5%減少しています。

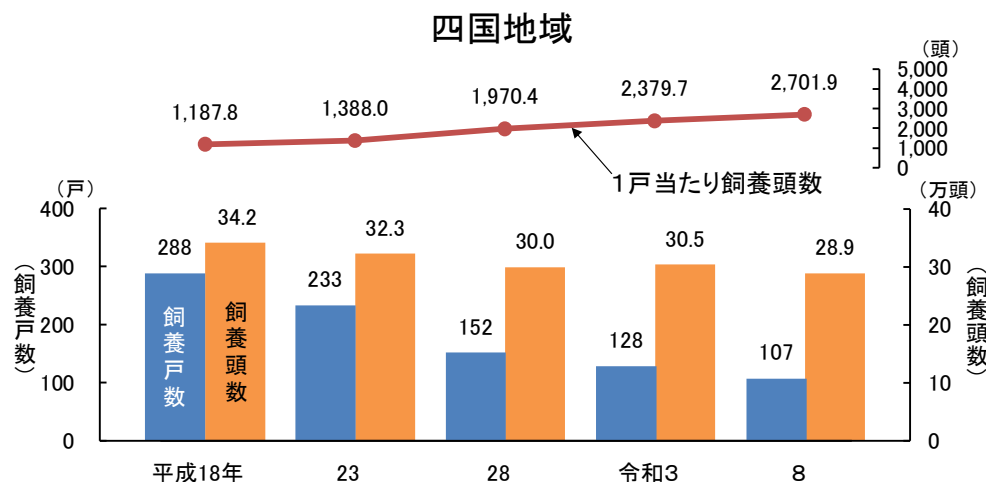
1戸当たり飼養頭数は、増加傾向で推移しており、令和8年は20年前に比べ、中国地域では226.3%、四国地域では127.5%それぞれ増加しています。

飼養戸数・飼養頭数及び1戸当たり飼養頭数の推移



県別の飼養戸数・飼養頭数及び1戸当たり飼養頭数(令和8年)

県名	飼養戸数 (戸)	飼養頭数 (頭)	1戸当たり 飼養頭数 (頭)
鳥取	12	41,000	3,416.7
島根	4	22,100	5,525.0
岡山	18	44,400	2,466.7
広島	21	138,600	6,600.0
山口	6	30,900	5,150.0



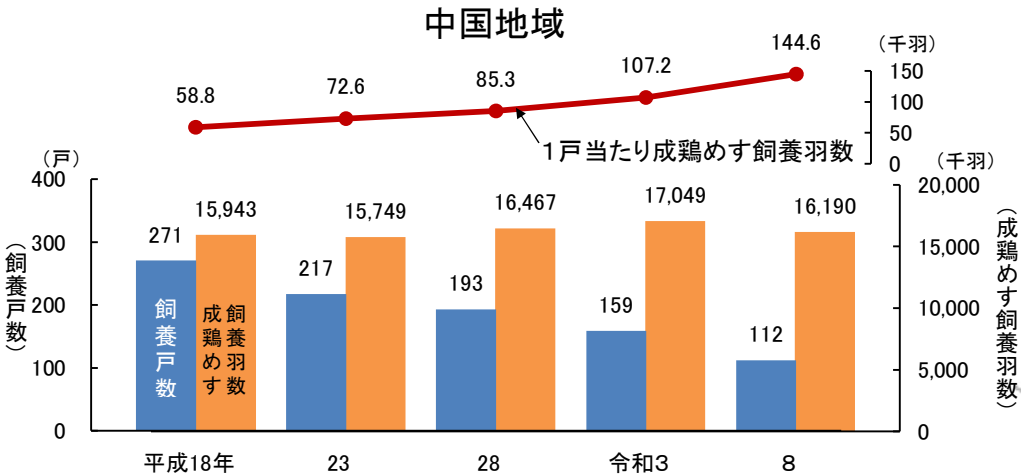
県名	飼養戸数 (戸)	飼養頭数 (頭)	1戸当たり 飼養頭数 (頭)
徳島	18	53,400	2,966.7
香川	19	22,200	1,168.4
愛媛	56	191,000	3,410.7
高知	14	22,500	1,607.1

畜産（採卵鶏）

中国四国地域における採卵鶏の飼養戸数は、減少傾向で推移しており、令和8年は20年前（平成18年）に比べ、中国地域では58.7%、四国地域では67.3%それぞれ減少しています。

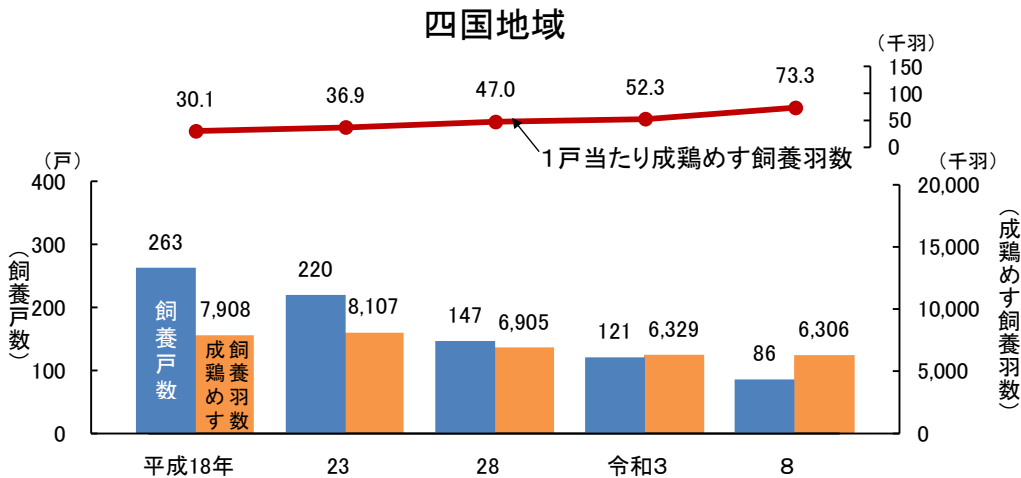
1戸当たり成鶏めす飼養羽数は、増加傾向で推移しており、令和8年は20年前に比べ、中国地域では145.9%、四国地域では143.5%それぞれ増加しています。

飼養戸数・成鶏めす飼養羽数及び
1戸当たり成鶏めす飼養羽数の推移



県別の飼養戸数・成鶏めす飼養羽数及び
1戸当たり成鶏めす飼養羽数(令和8年)

県名	飼養戸数 (戸)	成鶏めす 飼養羽数 (千羽)	1戸当たり成鶏めす 飼養羽数(千羽)
鳥取	8	238	29.8
島根	12	771	64.3
岡山	46	6,713	145.9
広島	33	7,208	218.4
山口	13	1,260	96.9



県名	飼養戸数 (戸)	成鶏めす 飼養羽数 (千羽)	1戸当たり成鶏めす 飼養羽数(千羽)
徳島	13	590	45.4
香川	31	4,024	129.8
愛媛	33	1,447	43.8
高知	9	245	27.2

D 農業生産編(畜産)

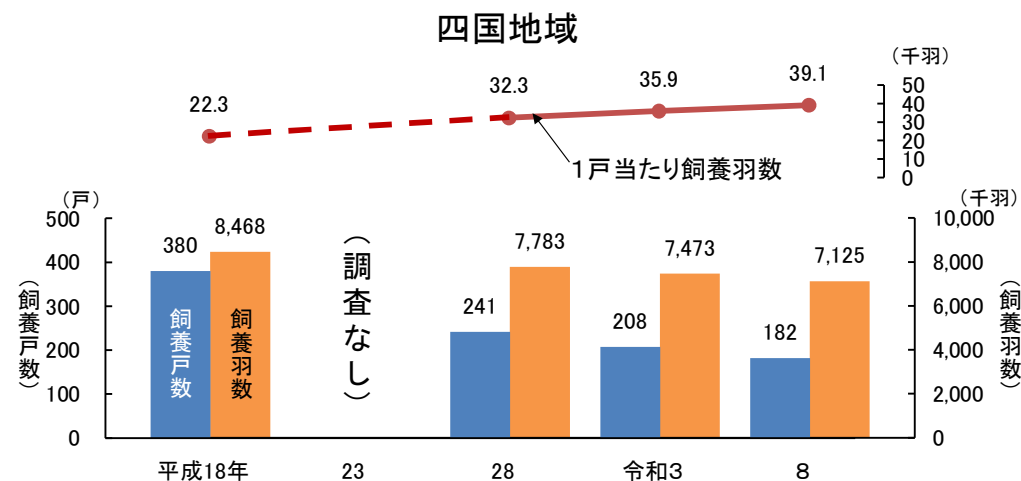
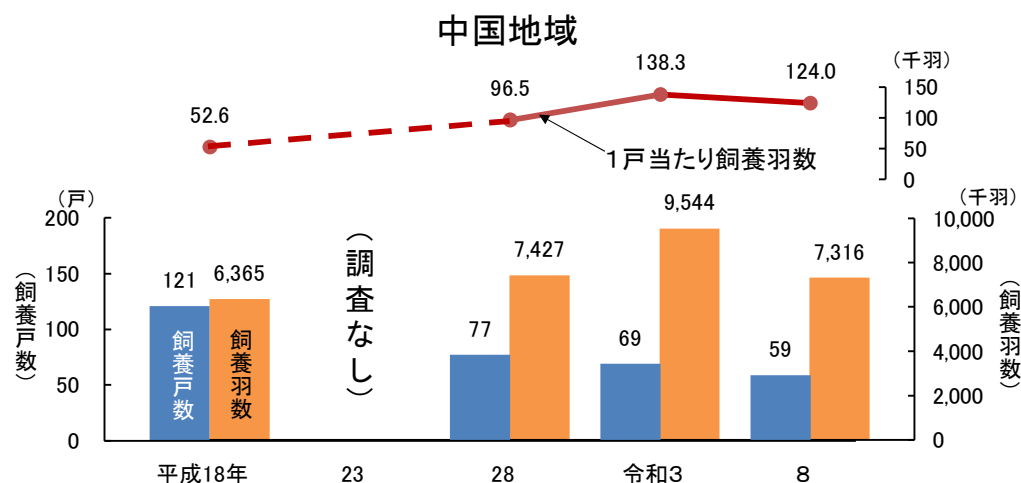
畜産（ブロイラー）

中国四国地域におけるブロイラーの飼養戸数は、減少傾向で推移しており、令和8年は20年前（平成18年）に比べ、中国地域では51.2%、四国地域では52.1%それぞれ減少しています。

令和8年の飼養羽数は、20年前に比べ、中国地域では14.9%増加し、四国地域では15.9%減少しています。

1戸当たり飼養羽数は、増加傾向で推移しており、令和8年は20年前に比べ、中国地域では135.7%、四国地域では75.3%それぞれ増加しています。

飼養戸数・飼養羽数及び1戸当たり飼養羽数の推移



県別の飼養戸数・飼養羽数及び1戸当たり飼養羽数(令和8年)

県名	飼養戸数 (戸)	飼養羽数 (千羽)	1戸当たり 飼養羽数 (千羽)
鳥取	10	2,448	244.8
島根	3	378	126.0
岡山	18	2,903	161.3
広島	7	398	56.9
山口	21	1,189	56.6

県名	飼養戸数 (戸)	飼養羽数 (千羽)	1戸当たり 飼養羽数 (千羽)
徳島	120	3,633	30.3
香川	30	2,174	72.5
愛媛	22	857	39.0
高知	10	461	46.1

注：平成18年は「食鳥流通統計」、平成28年以降は「畜産統計」の調査結果を用いているため、前後の数値は接続しない。

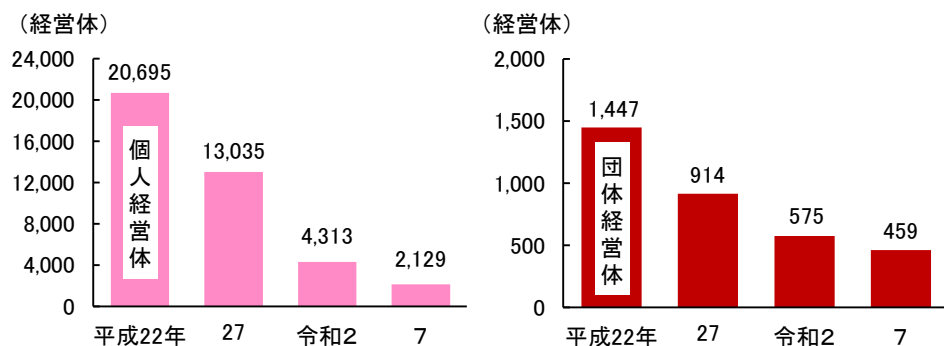
林業経営体

中国四国地域における個人経営体は、後継者不足に伴う廃業等のため減少傾向となっており、令和7年は15年前（平成22年）に比べ、中国地域では89.7%、四国地域では86.8%それぞれ減少しています。

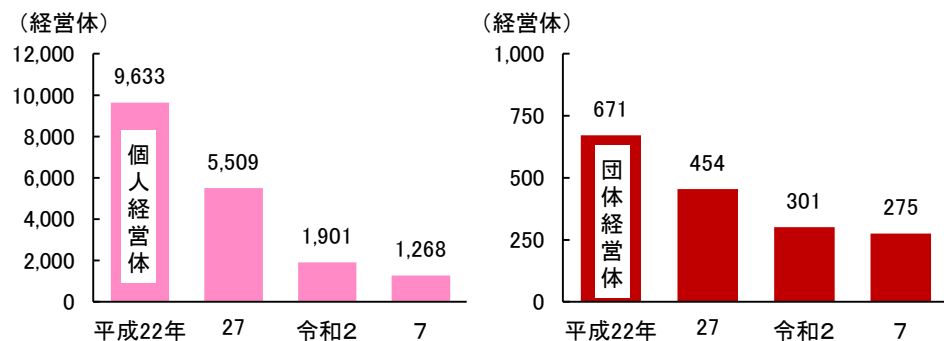
また、会社法人・森林組合などの団体経営体も減少傾向となっており、令和7年は15年前に比べ、中国地域では68.3%、四国地域では59.0%それぞれ減少しています。

林業経営体数の推移

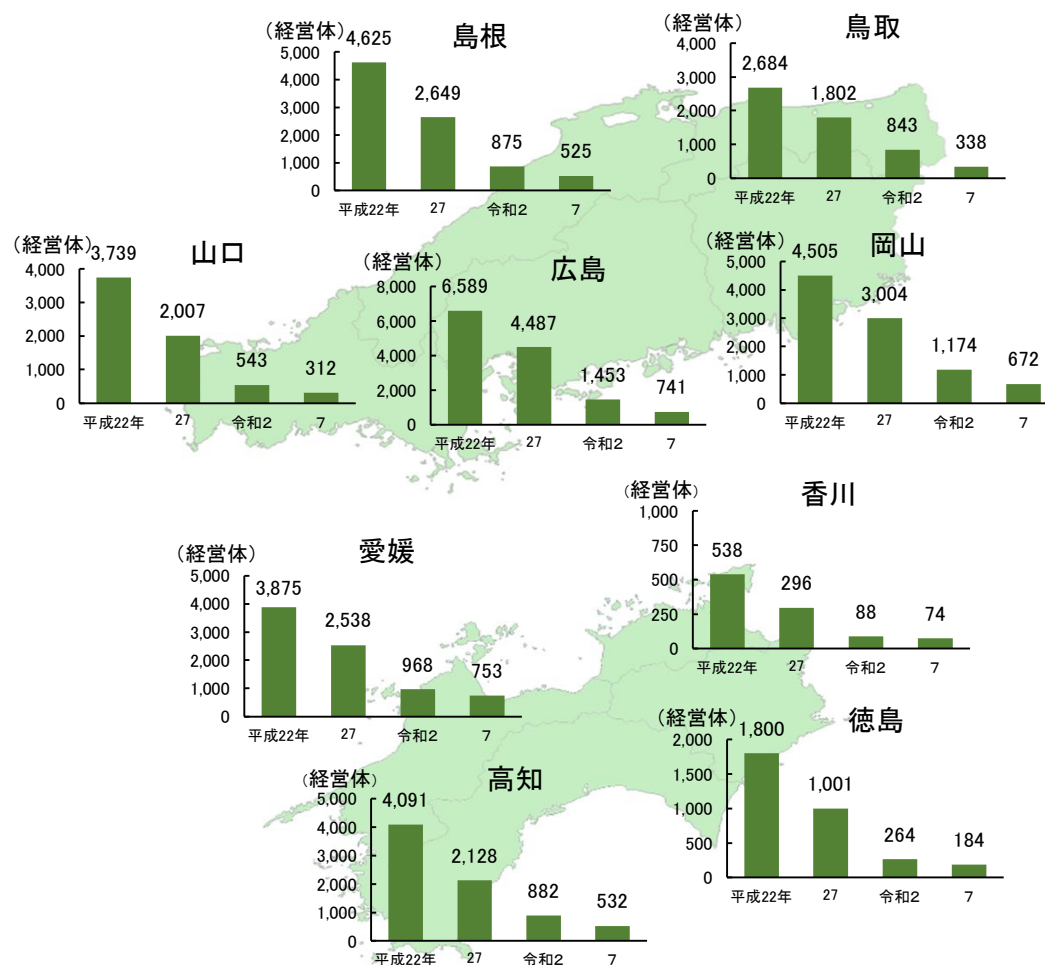
中国地域



四国地域



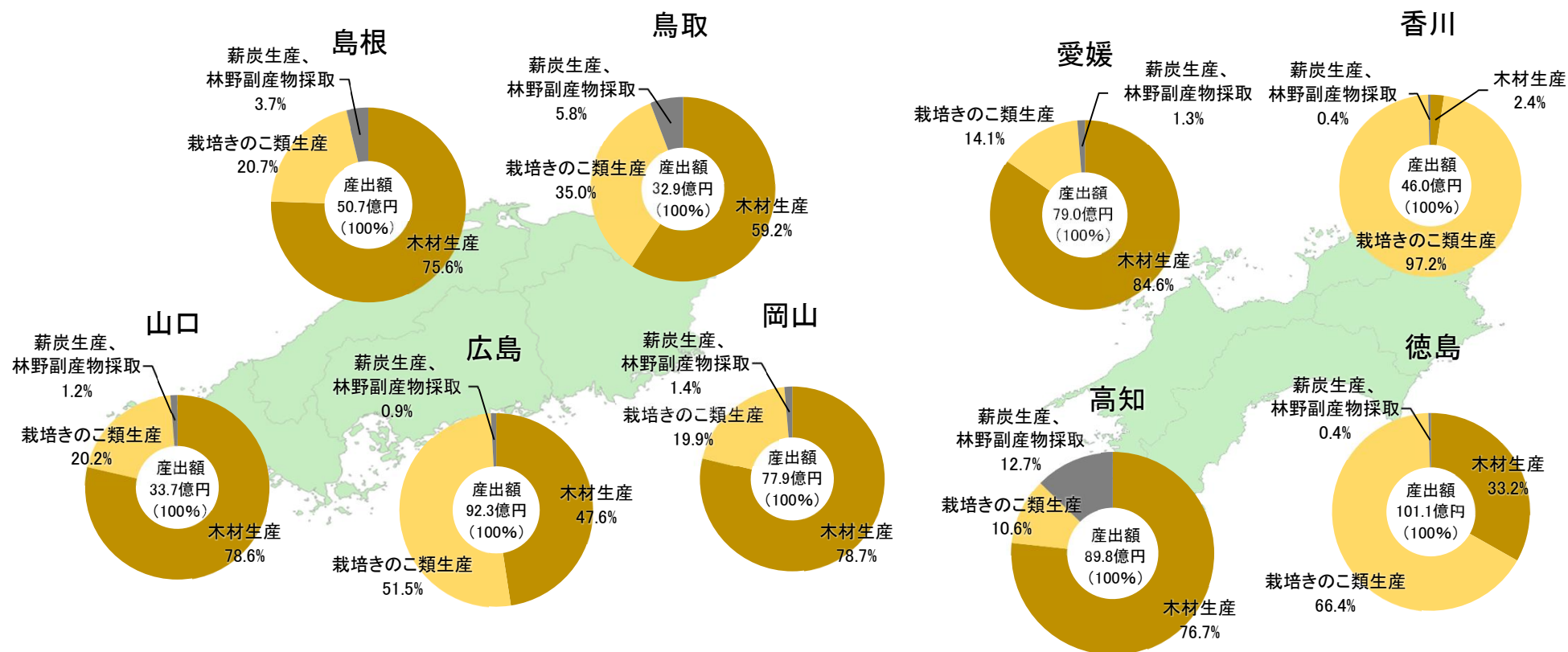
県別の林業経営体数の推移



林業産出額

各県の林業産出額を部門別でみると、中国地域では木材生産の割合が高い県が多い中、広島県では栽培きのご類生産の割合が高くなっています。四国地域では徳島県、香川県で栽培きのご類生産の割合が高く、愛媛県、高知県で木材生産の割合が高くなっています。また、高知県では薪炭生産の割合が他県に比べ高くなっています。

各県の林業産出額(令和6年)



注：円グラフの「薪炭生産、林野副産物採取」は、便宜上、産出額（総額）から木材生産及び栽培きのご類生産を差し引いた金額の割合としています。

各県における主な林産物生産量

中国地域の素材生産量は、鳥取県、島根県、広島県、山口県では「すぎ」、岡山県では「ひのき」が多くなっています。四国地域の素材生産量は、徳島県、愛媛県では「すぎ」、香川県では「広葉樹」、高知県では「ひのき」が多くなっています。

中国地域のきのこ類生産量は、鳥取県では「エリンギ」、他の4県では「生しいたけ」が多くなっています。四国地域のきのこ類生産量は、徳島県では「生しいたけ」、香川県、高知県では「ぶなしめじ」、愛媛県では「えのきたけ」が多くなっています。

各県における素材生産量と主なきのこ類の生産量(令和6年)

島根県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	354 千㎡	18位
すぎ	193 千㎡	17位
広葉樹	70 千㎡	4位
ひのき	67 千㎡	16位
あかまつ・くろまつ	19 千㎡	7位
生しいたけ	785 t	23位
まいたけ	178 t	10位
乾しいたけ	74 t	17位
エリンギ	6 t	10位
なめこ	4 t	24位

鳥取県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	208 千㎡	25位
すぎ	160 千㎡	20位
ひのき	29 千㎡	27位
広葉樹	13 千㎡	21位
あかまつ・くろまつ	6 千㎡	11位
エリンギ	333 t	5位
生しいたけ	274 t	35位
えのきたけ	259 t	11位
乾きくらげ類	117 t	2位
ぶなしめじ	98 t	13位

愛媛県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	520 千㎡	13位
すぎ	292 千㎡	12位
ひのき	224 千㎡	3位
あかまつ・くろまつ	2 千㎡	15位
広葉樹	2 千㎡	37位
えのきたけ	854 t	9位
乾しいたけ	496 t	5位
生しいたけ	435 t	30位
乾きくらげ類	93 t	4位
なめこ	2 t	27位

香川県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	14 千㎡	45位
広葉樹	7 千㎡	27位
ひのき	4 千㎡	35位
すぎ	2 千㎡	46位
あかまつ・くろまつ	1 千㎡	21位
ぶなしめじ	5,111 t	4位
生しいたけ	229 t	37位
乾しいたけ	4 t	47位

山口県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	199 千㎡	26位
すぎ	120 千㎡	26位
ひのき	57 千㎡	19位
広葉樹	20 千㎡	18位
あかまつ・くろまつ	2 千㎡	15位
生しいたけ	314 t	32位
乾しいたけ	66 t	21位
ひらたけ	1 t	26位

広島県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	329 千㎡	19位
すぎ	131 千㎡	24位
ひのき	102 千㎡	12位
広葉樹	82 千㎡	3位
あかまつ・くろまつ	14 千㎡	9位
生しいたけ	717 t	25位
乾しいたけ	24 t	33位
なめこ	8 t	22位
乾きくらげ類	3 t	30位
生きくらげ類	2 t	33位

岡山県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	427 千㎡	17位
ひのき	263 千㎡	1位
すぎ	135 千㎡	22位
広葉樹	21 千㎡	15位
その他	5 千㎡	7位
生しいたけ	1,468 t	15位
生きくらげ類	60 t	11位
乾しいたけ	51 t	23位
乾きくらげ類	34 t	11位
ぶなしめじ	26 t	16位

高知県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	537 千㎡	12位
ひのき	211 千㎡	4位
すぎ	211 千㎡	15位
その他	112 千㎡	1位
広葉樹	3 千㎡	34位
ぶなしめじ	991 t	8位
生しいたけ	276 t	34位
乾しいたけ	115 t	14位
生きくらげ類	23 t	21位
乾きくらげ類	19 t	16位

徳島県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	280 千㎡	24位
すぎ	211 千㎡	15位
ひのき	57 千㎡	19位
広葉樹	11 千㎡	22位
あかまつ・くろまつ	1 千㎡	21位
生しいたけ	7,025 t	1位
乾しいたけ	38 t	28位

資料：農林水産省「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

注：1 素材生産量の「その他」は、「あかまつ・くろまつ」、「すぎ」、「ひのき」、「からまつ」、「えぞまつ・とどまつ」以外の針葉樹です。

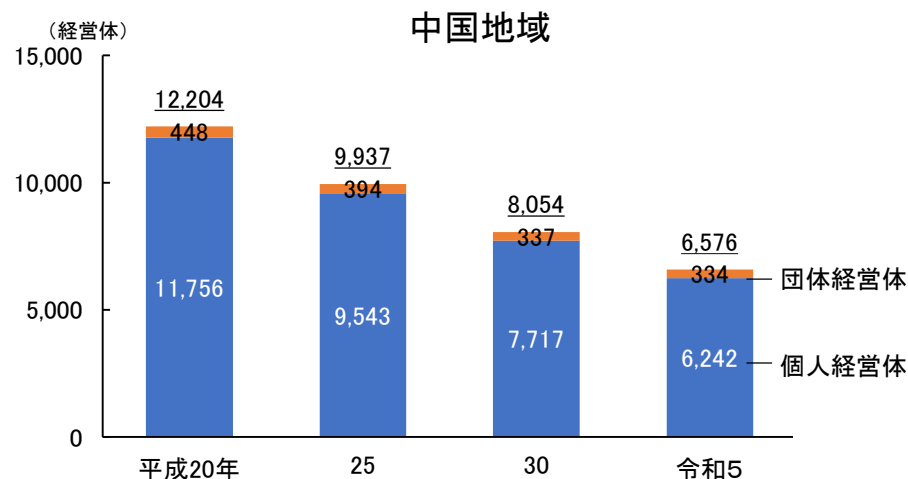
2 「乾しいたけ」、「乾きくらげ類」の生産量は、生換算値です。

海面漁業経営体数及び漁業就業者数

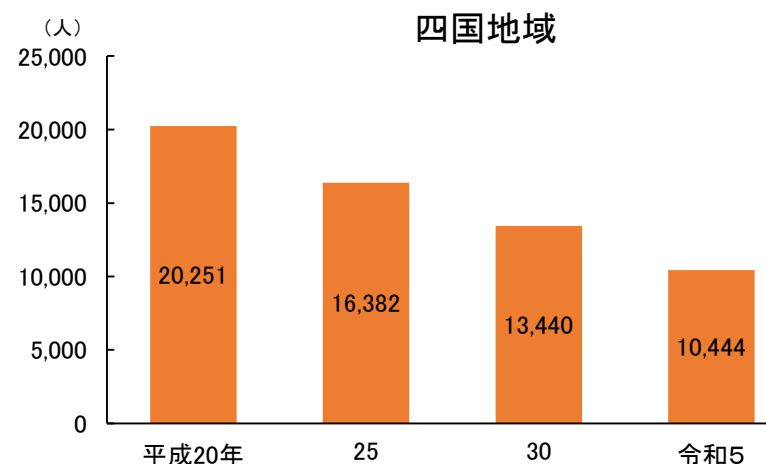
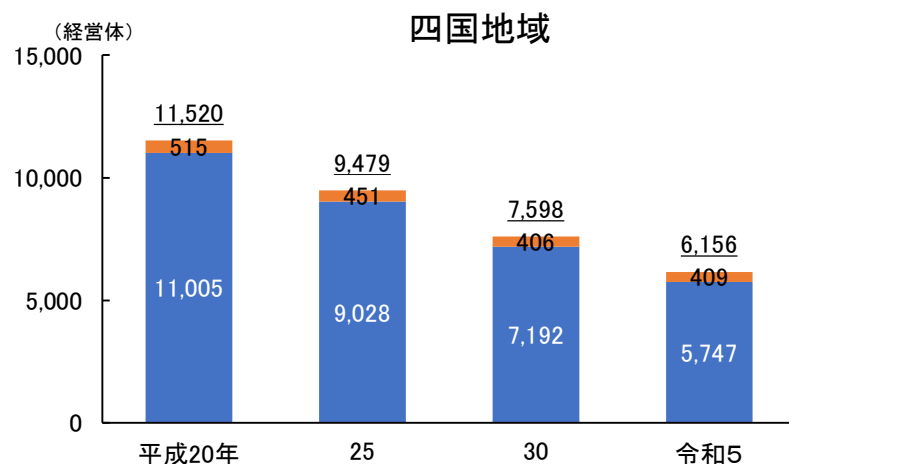
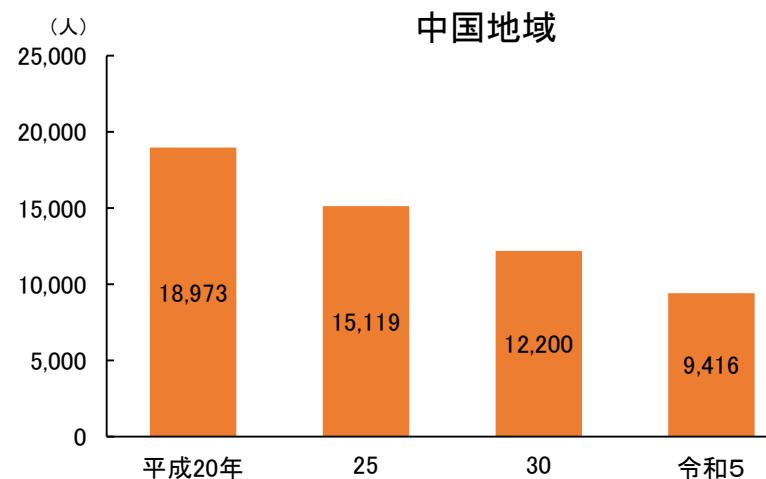
令和5年における海面漁業経営体数は、中国地域が6,576経営体、四国地域が6,156経営体で、15年前（平成20年）に比べ、46.1%、46.6%それぞれ減少しています。

漁業就業者数は、中国地域が9,416人、四国地域が1万444人で、15年前（平成20年）に比べ、50.4%、48.4%それぞれ減少しています。

海面漁業経営体数の推移



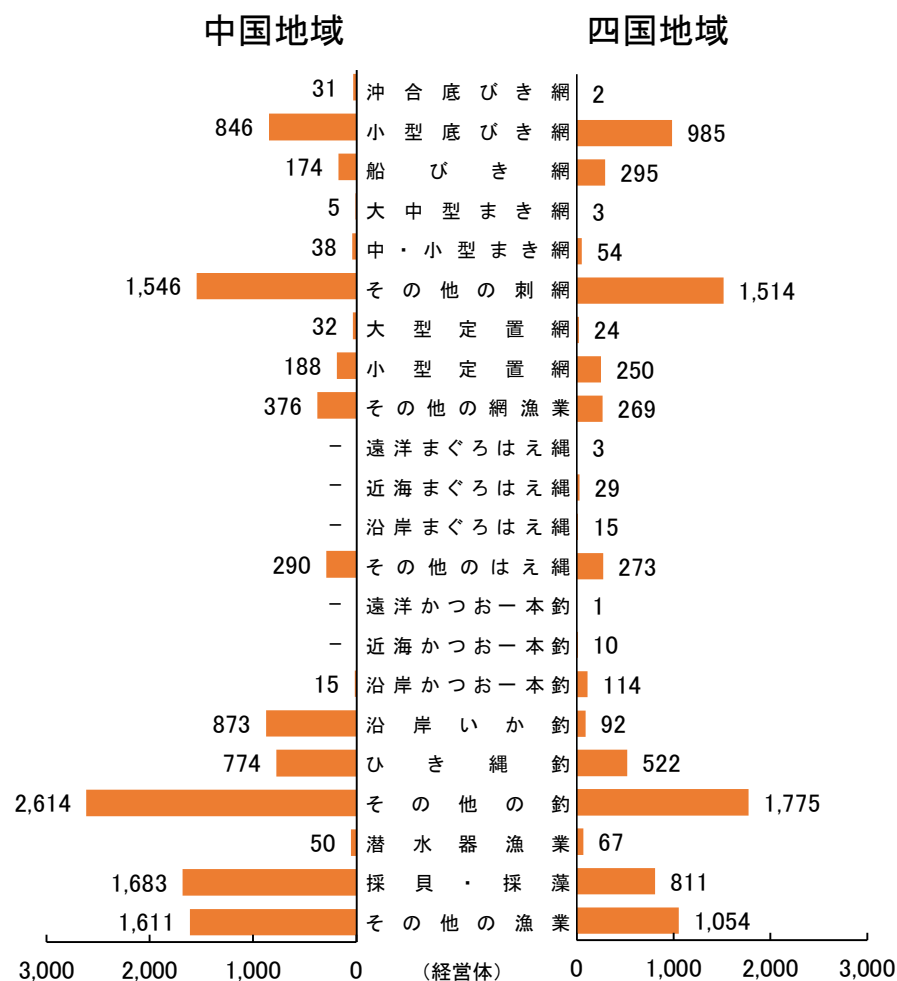
漁業就業者数の推移



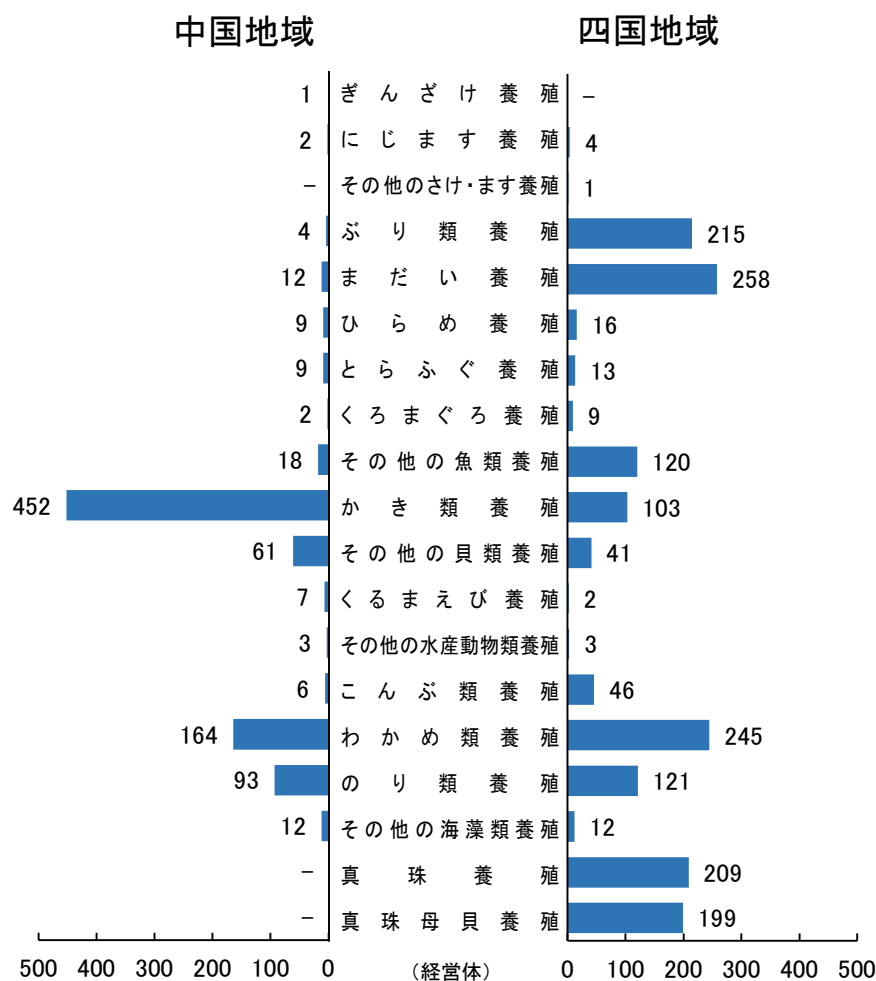
海面漁業経営体数（営んだ漁業種類・養殖種類別）

令和5年における海面漁業経営体を営んだ漁業種類別にみると、中国地域では「その他の釣」（2,614経営体）が最も多く、次いで「採貝・採藻」、
「その他の漁業」の順、四国地域では「その他の釣」（1,775経営体）が最も多く、次いで「その他の刺網」、「その他の漁業」の順となっています。
営んだ養殖種類別にみると、中国地域では「かき類養殖」（452経営体）が最も多く、次いで「わかめ類養殖」、「のり類養殖」の順、四国地域では
「まだい養殖」（258経営体）が最も多く、次いで「わかめ類養殖」、「ぶり類養殖」の順となっています。

営んだ漁業種類別経営体数(複数回答)



営んだ養殖種類別経営体数(複数回答)

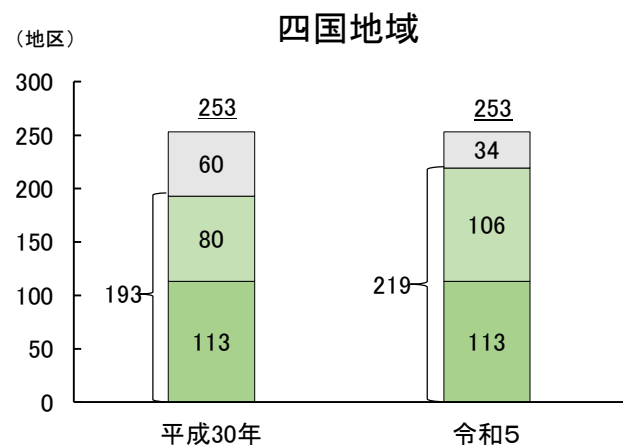
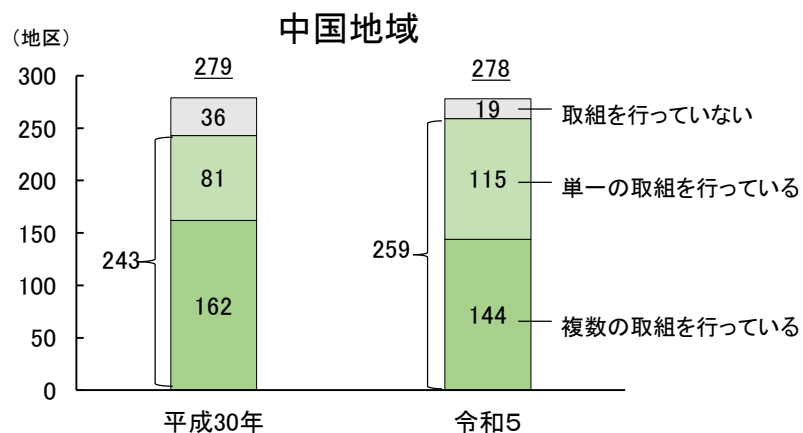


資源管理・漁場改善の取組（海面漁業）

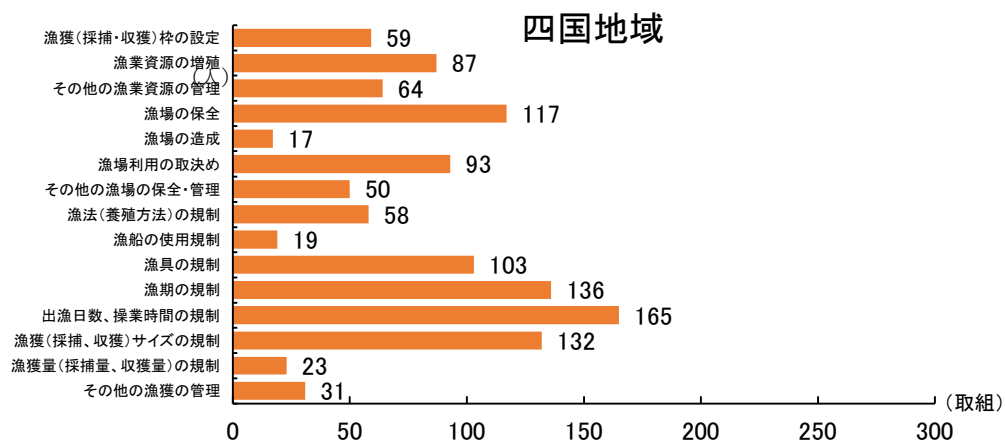
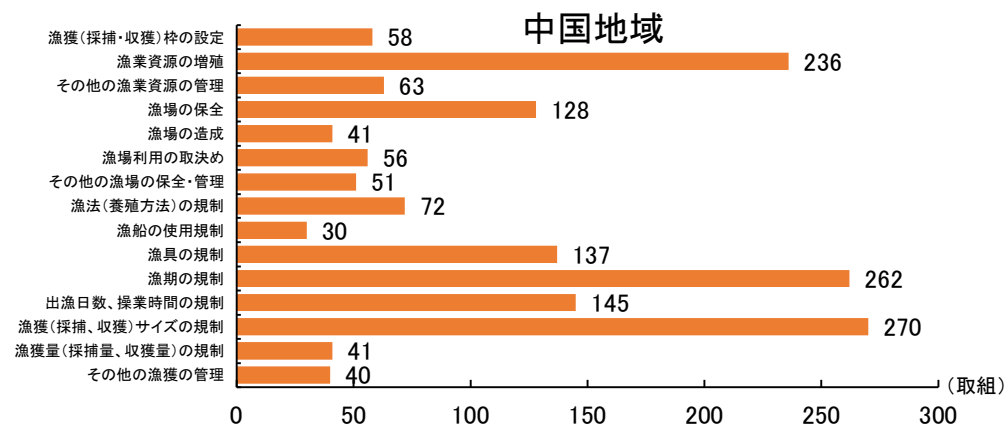
令和5年における漁業地区（中国地域：278地区、四国地域：253地区）のうち、漁業協同組合が関係する資源管理や漁場改善を目的とした取組を行っている漁業地区は、中国地域が259地区、四国地域が219地区で、5年前（平成30年）に比べ、6.6%、13.5%それぞれ増加しています。

同取組を管理内容別にみると、中国地域では「漁獲（採捕、収穫）サイズの規制」（270取組）が最も多く、四国地域では「出漁日数、操業時間の規制」（165取組）が最も多くなっています。

資源管理・漁場改善の取組の有無別地区数の推移



資源管理・漁場改善の管理内容別取組数（複数回答）



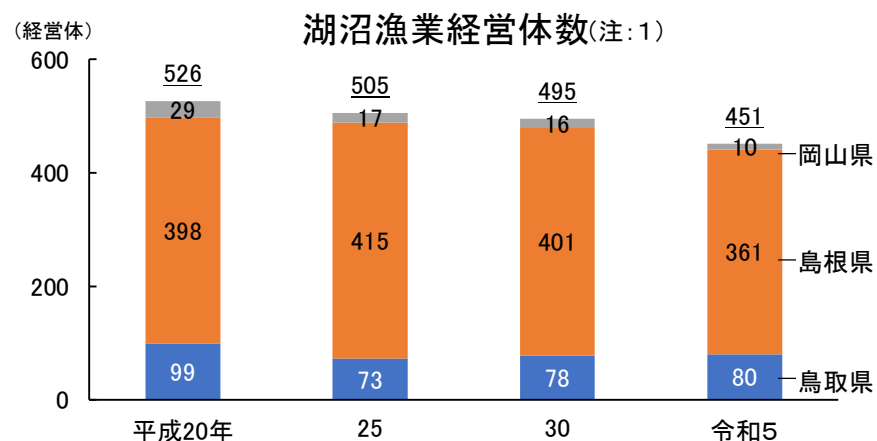
資料：農林水産省「漁業センサス」

内水面漁業経営体数及び従事者数

令和5年における湖沼漁業（注：1 参照）経営体数は451経営体で、15年前（平成20年）に比べ、14.3%減少しています。湖沼漁業の湖上作業従事者数は554人で、15年前（平成20年）に比べ、26.0%減少しています。

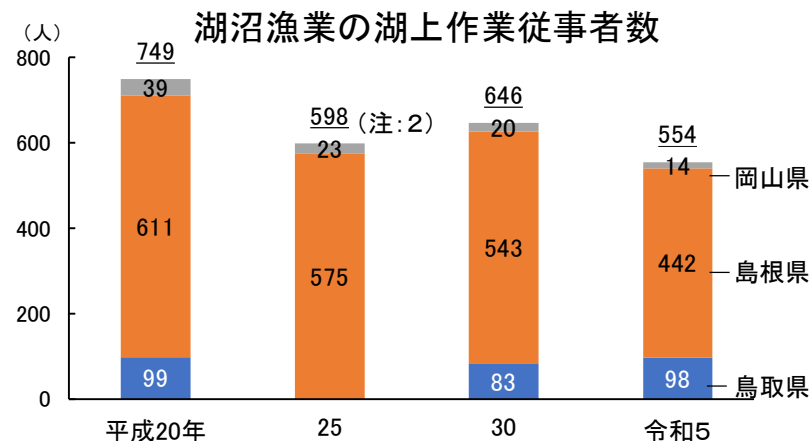
内水面養殖業経営体数は333経営体で、15年前（平成20年）に比べ、47.6%減少しています。内水面養殖業従事者数は1,264人で、15年前（平成20年）に比べ、39.8%減少しています。

湖沼漁業及び内水面養殖業経営体数の推移

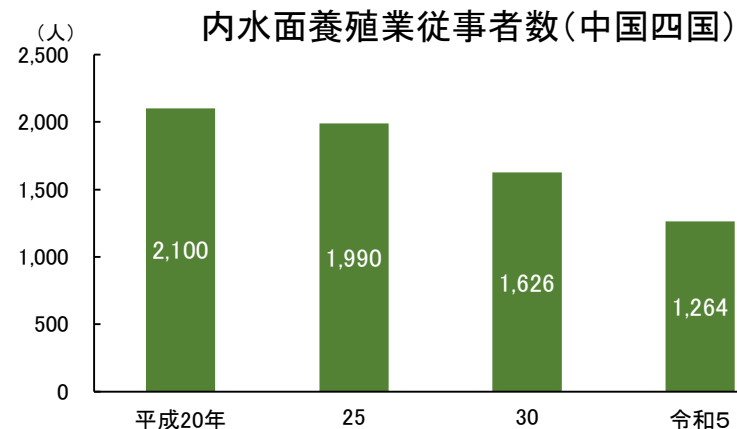
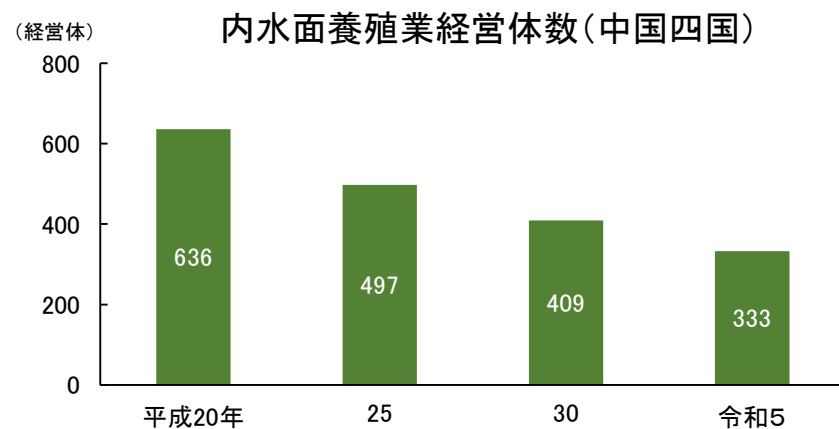


注：1 中国四国地域の湖沼漁業の調査対象は、鳥取県（湖山池、東郷池）・島根県（宍道湖、神西湖）・岡山県（児島湖）の5湖沼です。

湖上作業及び内水面養殖業従事者数の推移



注：2 平成25年は、鳥取県の値が秘匿されているため、島根県と岡山県の合計値です。



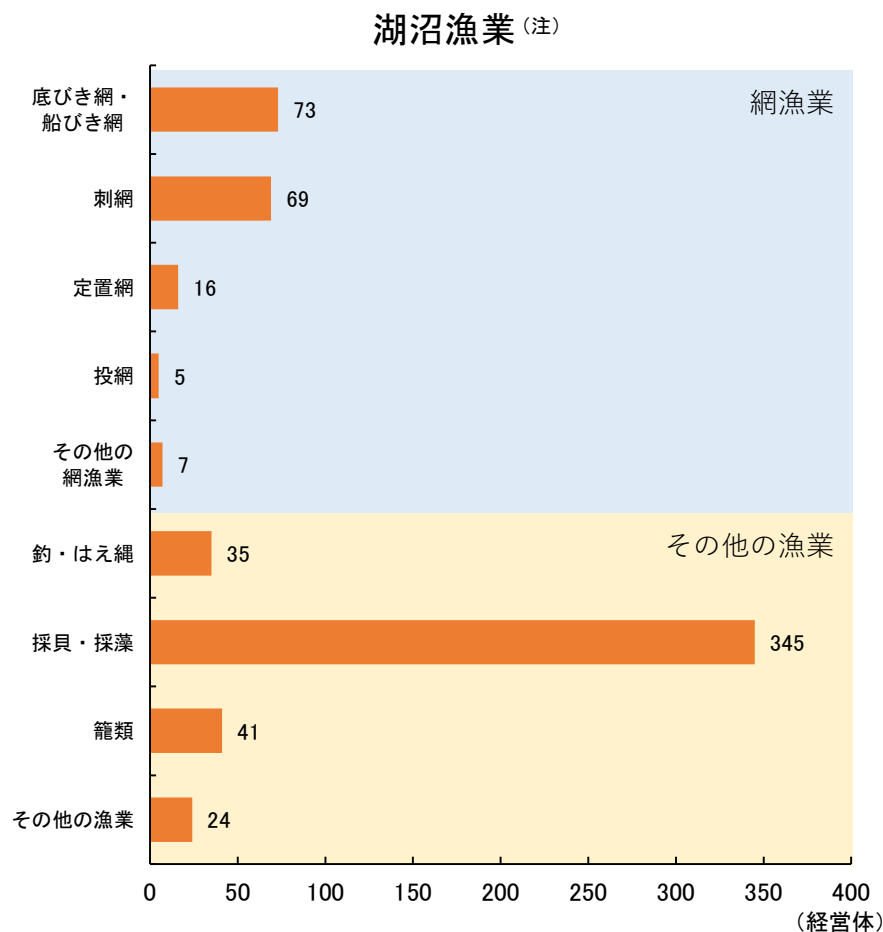
F 水産業編

内水面漁業経営体数（営んだ漁業種類・養殖種類別）

令和5年における湖沼漁業経営体を営んだ漁業種類別にみると、「採貝・採藻」（345経営体）が最も多く、次いで「底びき網・船びき網」、「刺網」の順となっています。

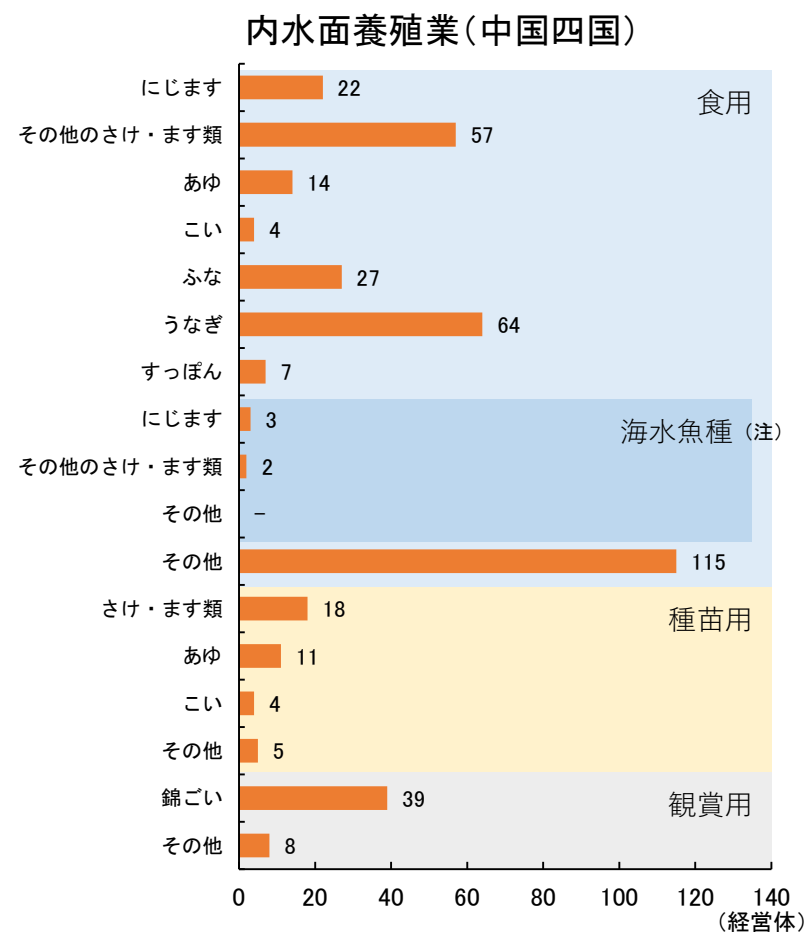
内水面養殖業経営体を営んだ養殖種類別にみると、食用の「その他」（115経営体）が最も多く、次いで「うなぎ」、「その他のさけ・ます類」、観賞用の「錦ごい」の順となっています。

湖沼漁業経営体数（営んだ漁業種類別）（複数回答）



注： 中国四国地域の湖沼漁業の調査対象は、鳥取県（湖山池、東郷池）・島根県（宍道湖、神西湖）・岡山県（児島湖）の5湖沼です。

内水面養殖業経営体数（営んだ養殖種類別）（複数回答）

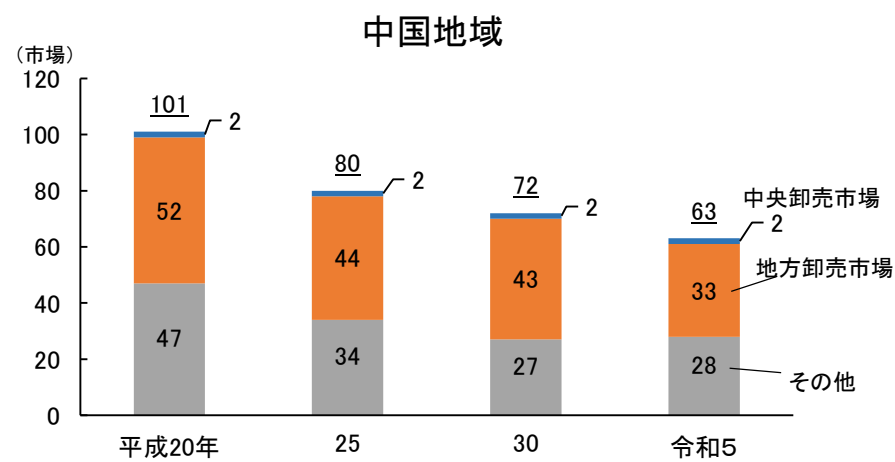


注： 海水魚種とは、海に面していない内陸市町村で海水により養殖しているものをいいます。

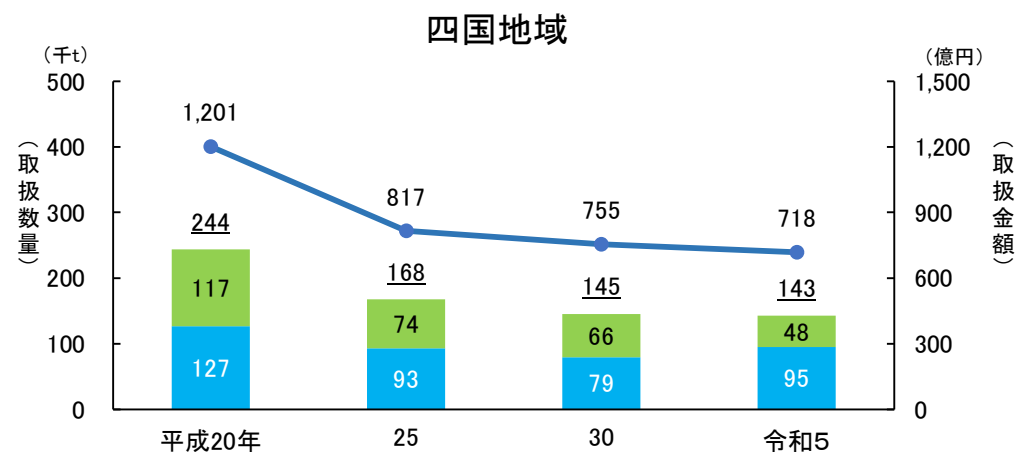
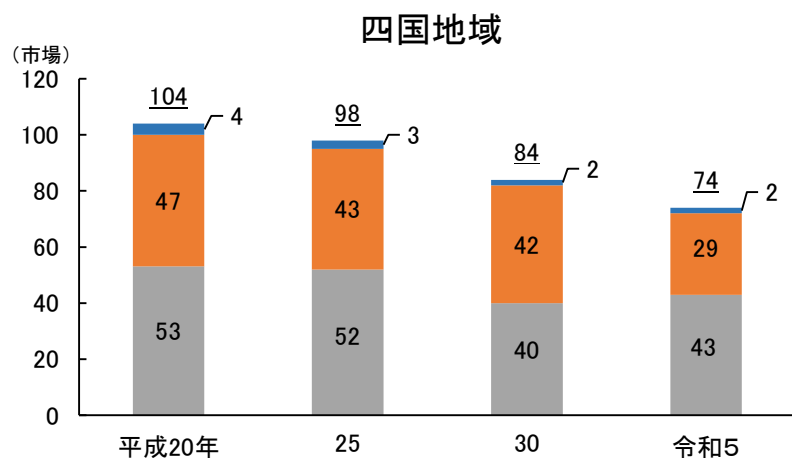
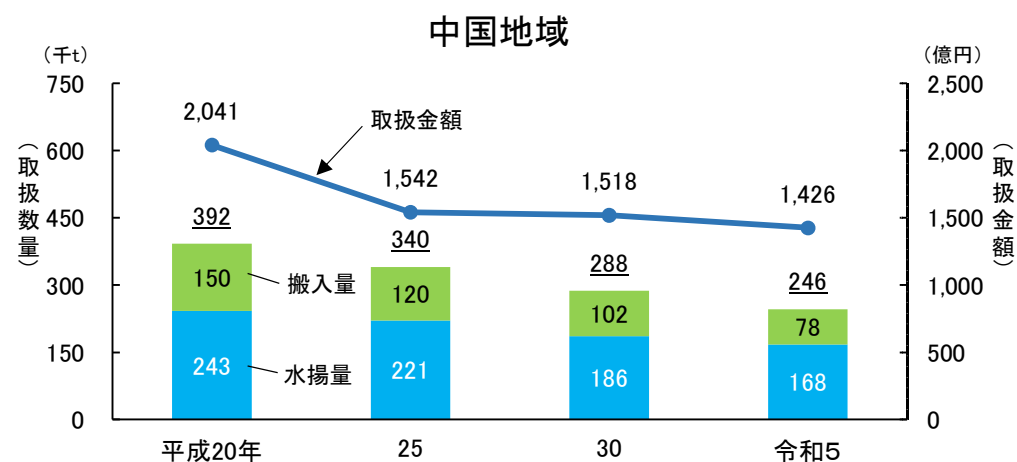
魚市場数及び年間取扱高

令和5年における魚市場数は、中国地域が63市場、四国地域が74市場で、15年前（平成20年）に比べ、37.6%、28.8%それぞれ減少しています。
 年間取扱高は、中国地域の取扱数量は24万6千t、取扱金額は1,426億円、四国地域の取扱数量は14万3千t、取扱金額は718億円となっており、それぞれ減少傾向で推移しています。

魚市場数の推移



年間取扱高の推移

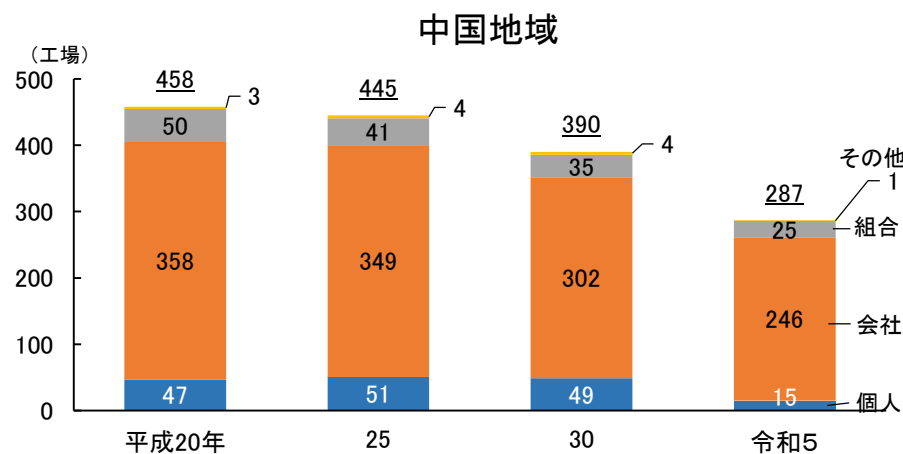


冷凍・冷蔵工場数及び従業者数

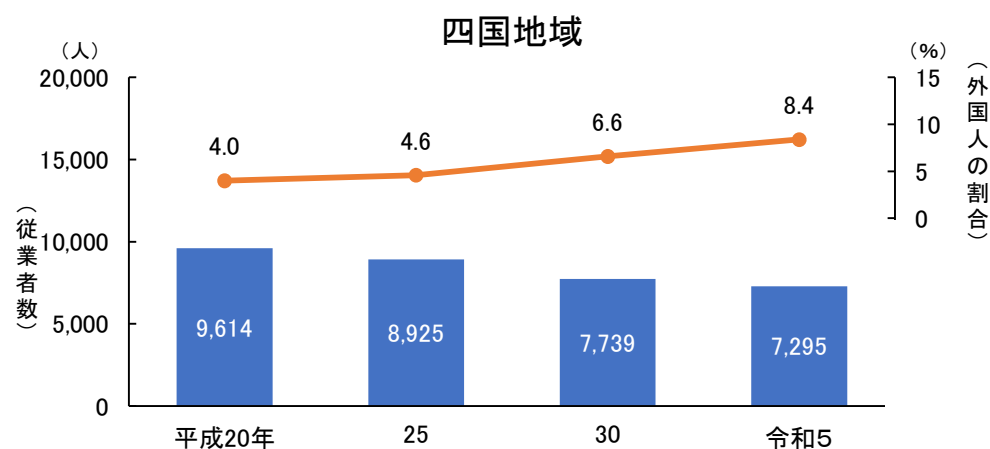
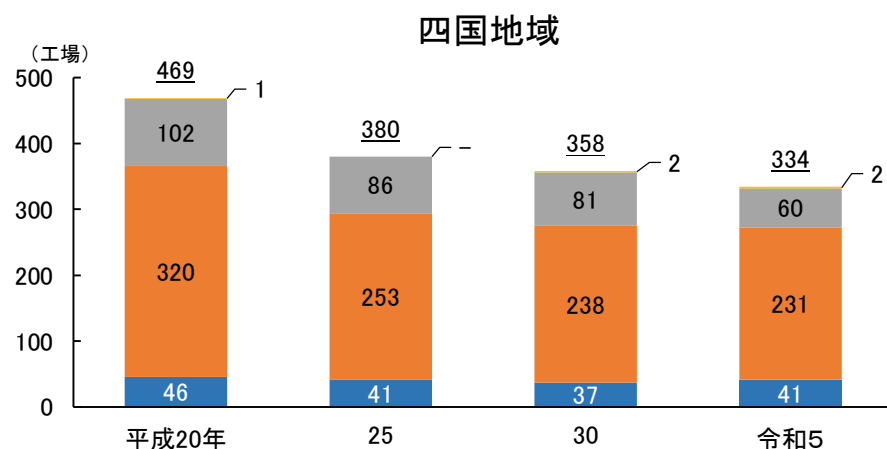
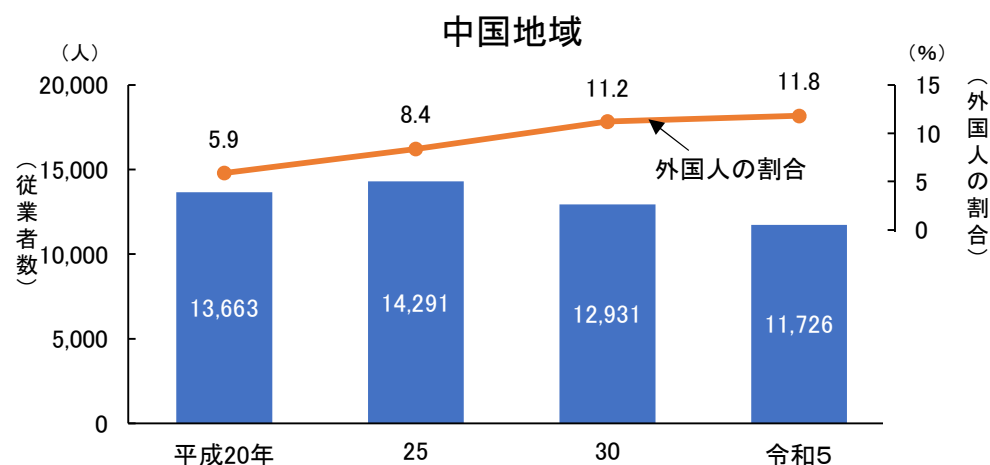
令和5年における冷凍・冷蔵工場数は、中国地域が287工場、四国地域が334工場、15年前（平成20年）に比べ、37.3%、28.8%それぞれ減少しています。

従業者数は、中国地域が1万1,726人、四国地域が7,295人で、15年前（平成20年）に比べ、14.2%、24.1%それぞれ減少しています。従業者のうち外国人の割合は、中国地域が11.8%、四国地域が8.4%で、それぞれ増加傾向で推移しています。

冷凍・冷蔵工場数の推移



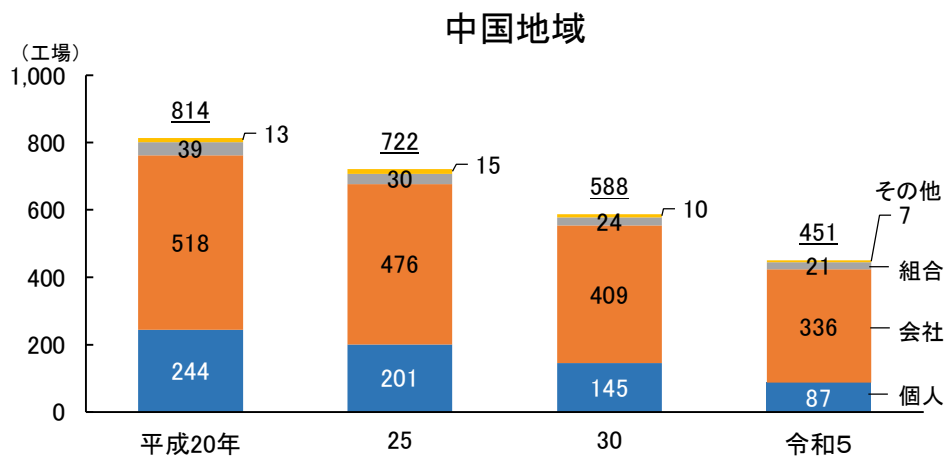
冷凍・冷蔵工場従業者数の推移



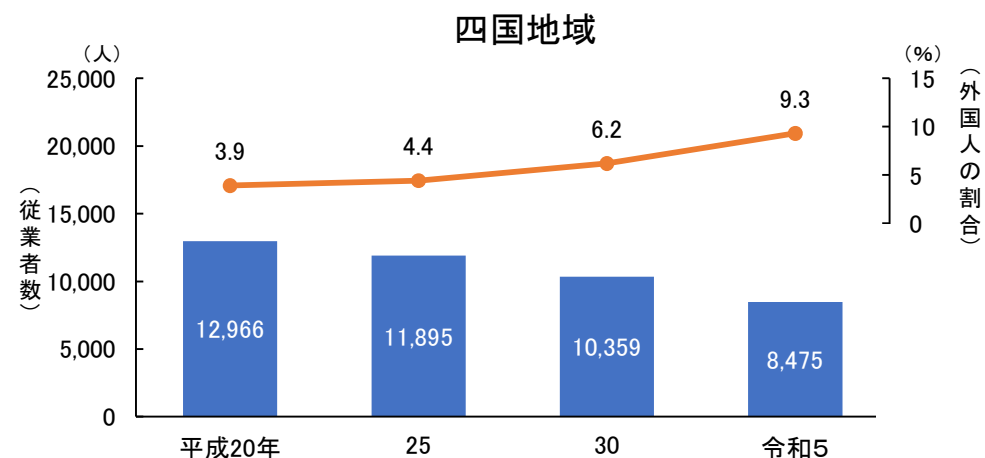
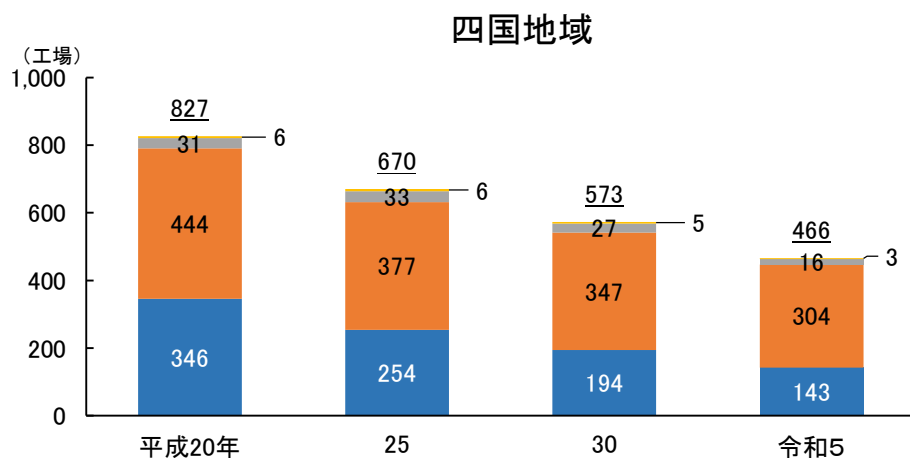
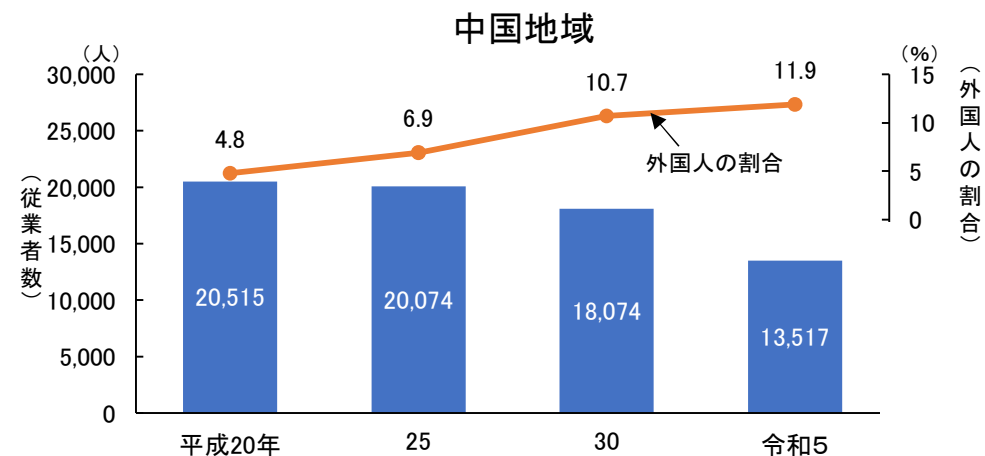
水産加工場数及び従業者数

令和5年における水産加工場数は、中国地域が451工場、四国地域が466工場、15年前（平成20年）に比べ、44.6%、43.7%それぞれ減少しています。従業者数は、中国地域が1万3,517人、四国地域が8,475人で、15年前（平成20年）に比べ、34.1%、34.6%それぞれ減少しています。従業者数のうち外国人の割合は、中国地域が11.9%、四国地域が9.3%で、それぞれ増加傾向で推移しています。

水産加工場数の推移



水産加工場従業者数の推移

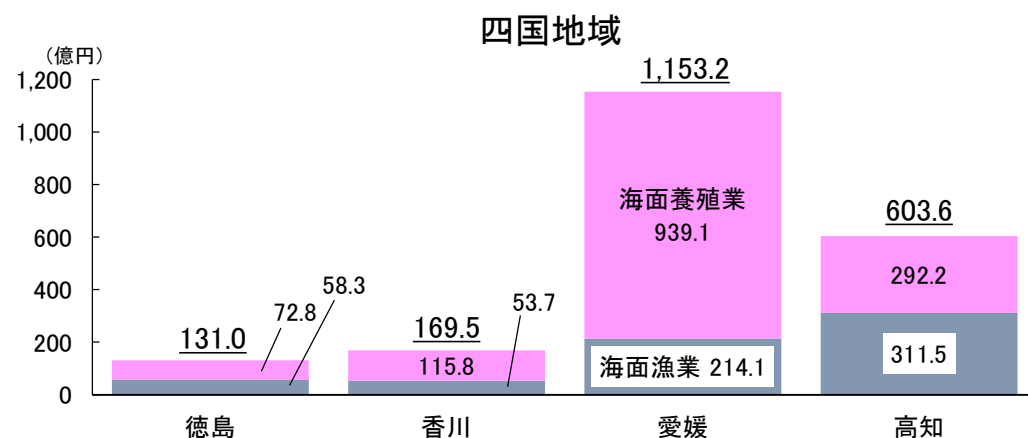
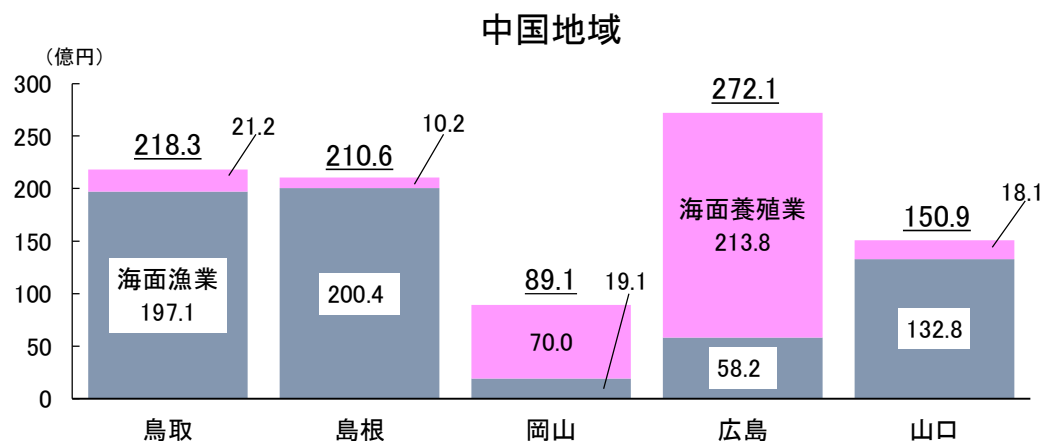


漁業産出額（海面漁業・海面養殖業）

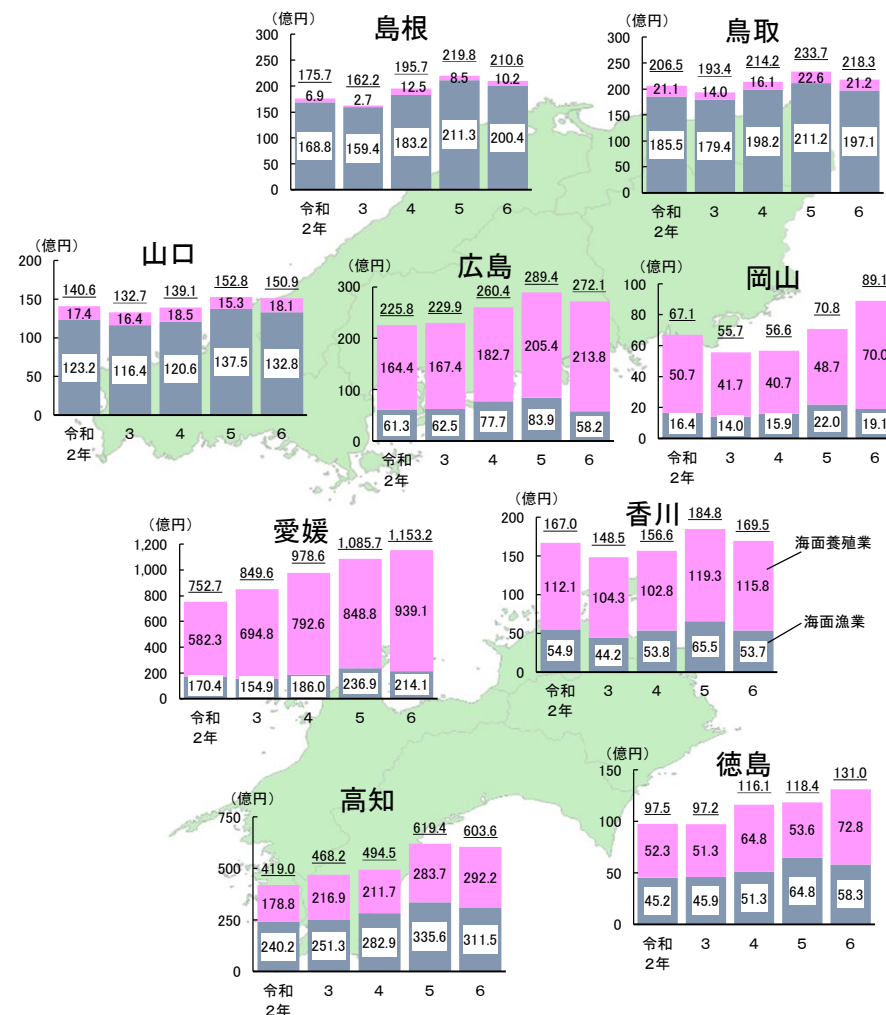
令和6年の漁業産出額は、中国地域では広島県、四国地域では愛媛県が高く、ともに海面養殖業が盛んです。

県別の漁業産出額の推移をみると、各県とも令和3年から令和5年にかけては増加傾向となっていました、令和6年は岡山県、徳島県、愛媛県以外の6県において減少しました。

各県の漁業産出額(令和6年)



県別の漁業産出額の推移



F 水産業編

漁業生産量（海面漁業・海面養殖業）

中国地域の漁業生産量は、鳥取県、島根県では「まいわし」、岡山県、広島県では「かき類(養)」、山口県では「かたくちいわし」が多くなっています。四国地域の漁業生産量は、徳島県では「ぶり(養)」、香川県では「くろのり(養)」、愛媛県では「まだい(養)」、高知県では「かつお」が多くなっています。

各県の主要魚種における漁業生産量(令和6年)

島根県 生産量:101,608 t			
魚 種	生産量	全国順位	
1 まいわし	37,470 t	8位	
2 さば類	27,601 t	2位	
3 まあじ	12,249 t	2位	
4 ぶり類	5,516 t	4位	
5 うるめいわし	5,478 t	3位	
6 ペにずわいがに	2,273 t	1位	
7 かれい類	1,204 t	4位	
8 きだい	581 t	3位	
9 かたくちいわし	544 t	19位	
10 さわら類	510 t	7位	

鳥取県 生産量:91,474 t			
魚 種	生産量	全国順位	
1 まいわし	51,071 t	3位	
2 さば類	11,578 t	5位	
3 かつお	10,678 t	9位	
4 ペにずわいがに	2,225 t	2位	
5 かれい類	2,034 t	2位	
6 ぶり類	1,956 t	12位	
7 まあじ	1,387 t	14位	
8 くろまぐろ	833 t	5位	
9 まだら	656 t	5位	
10 はたはた	617 t	1位	

愛媛県 生産量:130,295 t			
魚 種	生産量	全国順位	
1 まだい(養)	39,114 t	1位	
2 ぶり(養)	19,705 t	2位	
3 まいわし	13,244 t	11位	
4 かたくちいわし	10,251 t	4位	
5 さば類	9,246 t	7位	
6 うるめいわし	5,169 t	4位	
7 まあじ	3,627 t	4位	
8 しらす	3,051 t	2位	
9 しまあじ(養)	2,242 t	1位	
10 ぶり類	1,898 t	14位	
※ 真珠(養)	4,095 kg	2位	

香川県 生産量:24,694 t			
魚 種	生産量	全国順位	
1 くろのり(養)	6,694 t	7位	
2 かたくちいわし	6,239 t	7位	
3 ぶり(養)	4,223 t	7位	
4 かんぱち(養)	1,122 t	5位	
5 しらす	778 t	13位	
6 かき類(養)	763 t	10位	
7 まだい	649 t	6位	
8 さわら類	464 t	8位	
9 たこ類	289 t	10位	
10 まだい(養)	271 t	11位	

山口県 生産量:21,238 t			
魚 種	生産量	全国順位	
1 かたくちいわし	3,098 t	10位	
2 まいわし	2,285 t	19位	
3 まあじ	2,026 t	8位	
4 さば類	2,023 t	18位	
5 ぶり類	1,532 t	17位	
6 きだい	707 t	2位	
7 まだい	700 t	5位	
8 かれい類	384 t	11位	
9 さわら類	366 t	11位	
10 さざえ	313 t	3位	

広島県 生産量:113,701 t			
魚 種	生産量	全国順位	
1 かき類(養)	94,290 t	1位	
2 かたくちいわし	14,056 t	2位	
3 くろのり(養)	1,497 t	11位	
4 しらす	1,186 t	10位	
5 まだい	418 t	14位	
6 ぶり類	106 t	32位	
7 くろだい	104 t	6位	
8 たこ類	95 t	18位	
9 わかめ類(養)	89 t	13位	
10 さわら類	88 t	24位	

岡山県 生産量:23,031 t			
魚 種	生産量	全国順位	
1 かき類(養)	14,671 t	3位	
2 くろのり(養)	5,820 t	8位	
3 まだい	452 t	11位	
4 しらす	427 t	16位	
5 くろだい	132 t	4位	
5 ばらのり(養)	132 t	8位	
7 たこ類	107 t	16位	
8 なまこ類	73 t	13位	
9 すずき類	65 t	22位	
10 かれい類	60 t	26位	

高知県 生産量:77,247 t			
魚 種	生産量	全国順位	
1 かつお	16,943 t	4位	
2 まだい(養)	7,070 t	3位	
3 びんなが	6,225 t	1位	
4 ぶり(養)	5,759 t	6位	
5 きはだ	4,689 t	4位	
6 そうだがつお類	4,150 t	1位	
7 めばち	3,650 t	2位	
8 まあじ	3,245 t	6位	
9 うるめいわし	2,998 t	7位	
10 くろまぐろ(養)	2,301 t	3位	

徳島県 生産量:19,100 t			
魚 種	生産量	全国順位	
1 ぶり(養)	4,071 t	8位	
2 わかめ類(養)	3,626 t	3位	
3 しらす	2,360 t	6位	
4 かたくちいわし	1,084 t	17位	
5 さめ類	925 t	6位	
6 くろのり(養)	900 t	12位	
7 ぶり類	612 t	25位	
8 かつお	554 t	15位	
9 びんなが	463 t	12位	
10 まあじ	276 t	26位	

資料：農林水産省「令和6年漁業・養殖業生産統計」

注：（養）は海面養殖業による生産量であることを表しています。